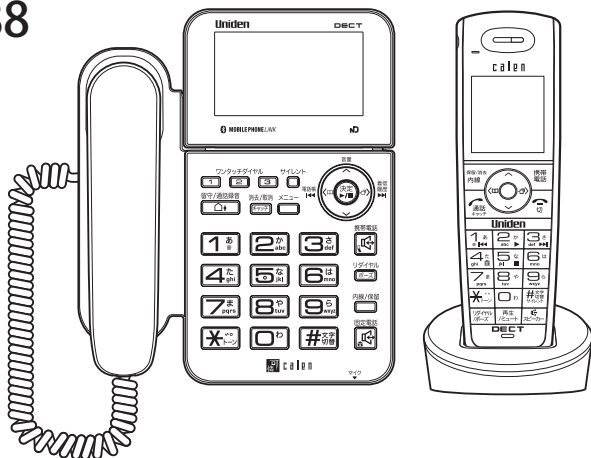
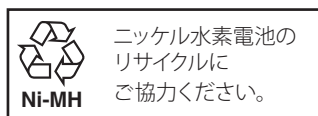
Uniden®

取扱説明書

デジタルコードレス留守番電話機

品 番

DECT3288

NTT へのサービス申し込みが必要です。（有料）

このたびはユニデンデジタルコードレス留守番電話機を
お買い上げいただきありがとうございます。

■ 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
■ 本書では、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

最新の商品情報、サポート情報、Bluetooth 接続確認済機器の情報は、
ホームページにてご覧いただけます。http://www.uniden.jp/

もくじ

はじめに

ご使用前の準備と設定

電話をかける／受ける

いろいろな機能を使う

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

留守番電話

便利な機能の設定

ご参考

● 本機は日本国内用に設計されています。海外ではご使用になれません。
This digital cordless telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えたりするおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
一般的注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

⚠警告

AC アダプターのコードを破損するようなことをしないでください

・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込まない

・加工したり、傷つけたりしない

・重いものをのせたり、引っ張ったりしない

・熱器具に近づけたり、加熱したりしない

・AC アダプターを抜く時は、必ず本体を持って抜く

火災・感電などの原因となります。

禁止

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

煙・異臭・異音が出た場合、落下・破損した場合は、使用を中止し、ACアダプターを抜いてください

・落としたり、水がかかったり、破損した場合は使用を中止し、AC アダプターを抜く

・煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止し、AC アダプターを抜く

火災・感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

不安定な場所に置かないでください

・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

水をかけたり、ぬらしたりしないでください

・火災・感電・故障の原因となります。

禁止

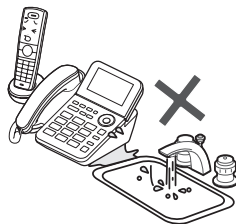
浴室やシャワー室では使用しないでください

・本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

浴室での使用禁止

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

・火災、感電の原因となることがあります。

禁止

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

バッテリーおよびACアダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください

・付属品以外のものを使用した場合、バッテリーの液もれや発熱、破裂および発火などの原因となります。

注 意

分解・修理・改造をしないでください

・けがや感電などの事故または故障の原因となります。

分解禁止

ACアダプターにホコリなどが付着しているときは、ACアダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

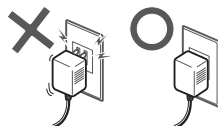
ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください

・感電の原因となることがあります。

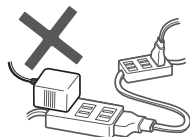
ぬれ手禁止

ACアダプターは確実に差し込んでください

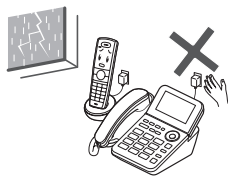
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

AC100 V以外での使用、コンセント・配線器具の定格を超える使用、タコ足配線をしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。

禁 止

雷が鳴り出したら、電話機コードやACアダプターに触れないでください

・感電の原因となります。

接触禁止

病院内などの使用を禁止された区域では使用しないでください

・医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

禁 止

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

次のような場所では設置・使用しないでください

■ 医用電気機器の近く
（手術室・集中治療室・CCU など）
*CCU：冠状動脈疾患監視病室
■ 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近く
■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置

・ 本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。

禁止

端子部に異物を差し込んだり、針金などの導電物を差し込んだり、接続したりしないでください

・感電・火災・故障の原因となります。

禁止

お手入れや長時間使用しないときは AC アダプターを抜いてください

・ 感電や故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、AC アダプターをはずしてください

・ コードが傷つき感電や故障の原因となることがあります。

接続線をはずす

⚠注意

お手入れをするときはシンナーやベンジンなどの薬品を使用しないでください

・変質、変形、変色の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

■バッテリーの取り扱いについて

バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないでください

・発火や破裂の原因となります。

禁 止

分解・修理・改造をしないでください

・液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

分解禁止

バッテリー内部の液が皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、きれいな水で洗ったのち、直ちに医師の診察を受けてください

・皮膚の傷害や失明などの原因となります。

注 意

直射日光の当たるところやストーブのそばなど、高温になる場所での使用や放置はしないでください

・液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

禁 止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製のネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください

・液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

禁 止

本機以外の機器に使用しないでください。また、指定以外の方法で充電しないでください

・液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

禁 止

使用上のお願い

● 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
● 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、その他のサービスの利用ができなかったために生じた経済的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コードレス電話機の使用範囲について

コンクリート壁や金属製の扉がある部屋など、電波の届きにくい場所ではつながりにくくなることがあります。
お使いになる前に使用範囲をお確かめください。

設置場所について

次のようなところでは使用しないでください。

親機と子機間の見通しの悪いところ

※ 雑音が入ったり、通話が途切れたりすることがあります。

テレビ、ラジオ、OA 機器などのそば

※ 雑音が入ったり、通話が途切れたりすることがあります。
・近くを自動車やバイクが通ると、雑音が入ったり、通話が途切れたりすることがあります。

温度変化の激しいところ

※ 結露により誤動作することがあります。

電話回線について

・ 本機は共同電話、地域集団電話、公衆電話には接続できません。

・ 本機のナンバー・ディスプレイ機能を使用するときは、ナンバー・ディスプレイ機能が有効な別の電話機を並列に接続しないでください（誤動作の原因になります）。

使用上のお願い（つづき）

通話傍受について

本機は、デジタル信号を利用し、また Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しているため傍受されにくい商品ですが、親機と子機間で電波を使用しているため、第三者が故意に通話を傍受する可能性もありますのでご注意ください。

その他

- 従来ご使用の NTT のレンタル電話機が不要になる場合は、局番なしの 116 番（通話料金無料）へご連絡のうえ、契約を解除してください。
  本機は停電時でも親機の受話器を使って外線通話ができますが、親機のその他の機能および子機は使用できませんのでご注意ください。（レンタル電話機は電源を使用しないため、停電時でも使用が可能です。）

- 本機を廃棄・譲渡・返却するときは個人情報流出を防止するため、本機の電話帳、リダイヤル、着信履歴などの記録をすべて消去してください。（☞ 32, 33, 60, 70 ページ）

※ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がありましたら、
< ユニデンダイレクト > お客様センターへお申しつけください。

はじめに

Bluetooth について

Bluetooth 通信の使用範囲について

Bluetooth 通信は、およそ 10m 程度までの距離で利用できますが、次の場合には音が途切れたり、雑音が入ったりすることがあります。

◎親機と Bluetooth 接続機器の間に障害物（人体、金属、壁など）がある場合

▶ 電波が届きにくくなることがあります。
親機と Bluetooth 接続機器の間に障害物が入らないようにしてください。

◎次のような機器が近くにある場合

▶ 電波の干渉による影響を受けることがあります。
– 同一周波数帯（2.4GHz）を使用する無線 LAN（IEEE802.11b/g）
– 電子レンジ
– テレビ、ラジオ、OA 機器
– ステレオ・ビデオ・パソコンなどのワイヤレス AV 機器
– 別の Bluetooth 対応機器
– アマチュア無線局
– 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
– 工場や倉庫などの物流管理システム
– 鉄道車両や緊急車両の識別システム
– マイクロ波治療器
– ゲーム機のワイヤレスコントローラー
– その他、VICS（道路交通情報通信システム）など
次の対策を試してください。
・これらの機器の電源を切る
・これらの機器から距離をおいて使用する
・親機と Bluetooth 接続機器の距離を近づける

Bluetooth について（つづき）

Bluetooth プロファイル

Bluetooth 無線技術では、それぞれの機能が目的ごとに「プロファイル」と呼ばれるもので標準化されています。本機は次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

Bluetooth 対応携帯電話で
ハンズフリー通話をするためのプロファイル
HFP
（Hands-Free Profile）

Bluetooth 接続でそれぞれの機能を使うには、接続する Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ご使用の前に、本機と接続する Bluetooth 機器の対応プロファイルをご確認ください。

ご注意！
同じプロファイルに対応していても、本機と接続する Bluetooth 機器の仕様により、一部の機能が動作しない場合があります。

Bluetooth について（つづき）

ペアリングとは

Bluetooth 接続では、あらかじめ、接続しようとする Bluetooth 機器どうしを登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。
一度登録すれば、それぞれの Bluetooth 機器に登録情報が記憶されますので、電源を入れるたびに登録しなおす必要はありません。
ただし､以下の場合は､使用したいBluetooth機器を再度本機に登録する必要があります。

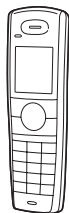
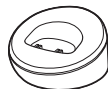
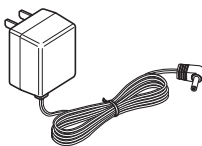
- 登録している Bluetooth 機器で、本機の登録を解除したとき
- 修理などで、登録情報が消去されてしまったとき

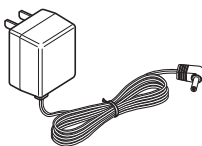
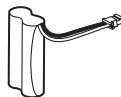
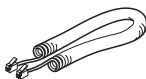
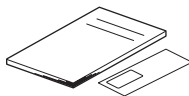
本機は Bluetooth 規格 Ver. 2.0+EDR に準拠しています。そのため、本機の電源が入っているときに、登録している機器がエリア内に入った場合、自動的に接続をします。
（ただし、上記規格に対応した機種であっても接続できない場合があります。）

ご注意！

- 本機はすべての Bluetooth 機器と Bluetooth 接続できることを保証するものではありません。
- 本機と Bluetooth 機器を接続するためには、携帯電話側の Bluetooth 接続設定をオンにする必要があります。

お知らせ

- Bluetooth 接続確認済機器の情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

本体と付属品

※ 保証書にはお買い上げ日をご記入のうえ、大切に保管してください。

※　この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

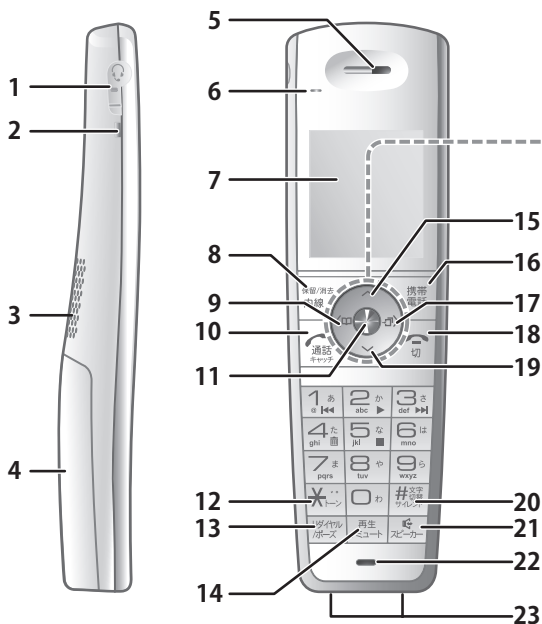
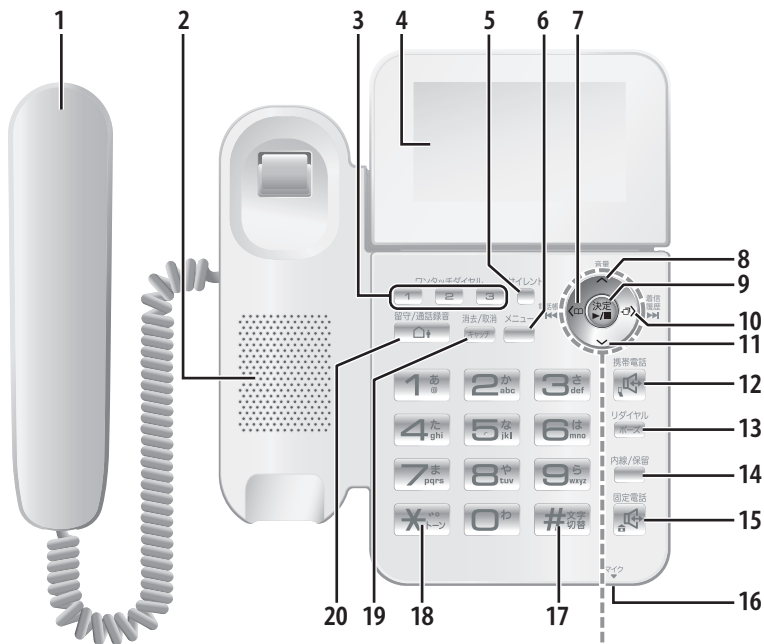
各部のなまえ（子機）

- **メニューを選ぶ**
- **音量を変更する**
- **電話番号を選ぶ**
  電話帳
  着信履歴
  リダイヤル

- **電話帳を使う**
- **カーソルを左に移動する**
- **前の画面に戻る**
  (電話帳・メニュー操作時)

- **着信履歴を見る**
- **カーソルを右に移動する**
- **次の画面に進む**
  (電話帳・着信履歴操作時)

1 ヘッドセット端子
2 ベルトクリップ取付穴
3 スピーカー
4 バッテリーカバー
5 受話口
6 充電／着信ランプ
7 液晶ディスプレイ
8 **保留**／**内線**／**消去**キー
9 **電話帳**キー
10 **通話**／**キャッチ**キー
11 **メニュー**／**決定**キー
12 **＊**／**トーン**キー
13 **リダイヤル**／**ポーズ**キー
14 **再生**／**ミュート**キー
15 **へ**／**音量**キー
16 **携帯電話**キー
17 **履歴**キー
18 **切**キー
19 **ﾍ**／**音量**キー
20 **#**／**文字切替**／**サイレント**キー
21 **スピーカー**キー
22 送話口
23 充電端子

各部のなまえ（親機・正面）

へ/音量キー
∨/音量キー

- **メニューを選ぶ**
- **音量を変更する**
- **電話番号を選ぶ**
  電話帳
  着信履歴
  リダイヤル

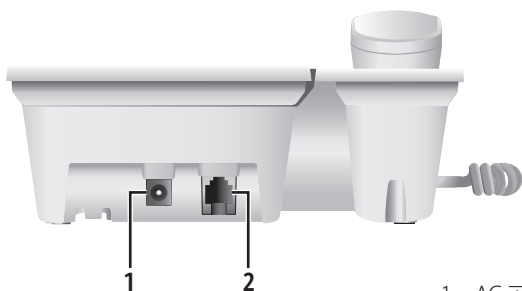
電話帳キー

- **電話帳を使う**
- **カーソルを左に移動する**
- **前の画面に戻る**
  （電話帳・メニュー操作時）

履歴キー

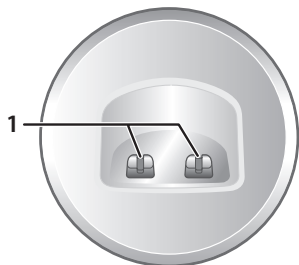
- **着信履歴を見る**
- **カーソルを右に移動する**
- **次の画面に進む**
  （電話帳・着信履歴操作時）

1 受話器
2 スピーカー
3 ワンタッチダイヤル
4 親機ディスプレイ
5 **サイレント**キー
6 **メニュー**キー
7 **電話帳**キー
8 **へ**／**音量**キー
9 **決定**／**再生**／**停止**キー
10 **履歴**キー
11 **∨**／**音量**キー
12 **携帯電話**キー
13 **リダイヤル**／**ポーズ**キー
14 **内線**／**保留**キー
15 **固定電話**キー
16 マイク
17 **#**／**文字切替**キー
18 **＊**／**トーン**キー
19 **消去**／**取消**／**キャッチ**キー
20 **留守**／**通話録音**キー

各部のなまえ（親機・背面）

1　AC アダプター接続端子
2　電話機コード接続端子

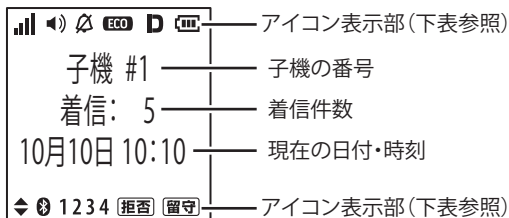
親機ディスプレイ部について

親機のディスプレイ部は見やすい角度に調節することができます。
（可動角度：最大 40 度）

各部のなまえ（充電器）

1　充電端子

各部のなまえ（液晶ディスプレイ・子機）

液晶ディスプレイには、使用状況に応じてさまざまな情報が表示されます。

待受中の表示例

表示アイコンについて

アイコン	内　容	こんなときに表示されます	参照ページ
(アンテナ)	アンテナ強度	親機・子機間のアンテナ強度（5段階で表示されます）	—
(スピーカー)	スピーカーホン	スピーカー通話のとき	37 ページ
(消音)	着信音量：消音	着信音量が「消音」のとき	26 ページ
ECO	エコモード	エコモードが「オン」のとき（自動オン／オフ）	27 ページ
D	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ設定が「オン」のとき	67 ページ
(バッテリー)	バッテリー残量	バッテリー残量（4段階で表示されます）	22 ページ
1234	Bluetooth 1 ～ 4	Bluetooth 機器が登録されているとき	25 ページ
拒否	着信拒否	着信拒否設定が有効なとき	71 ～ 76 ページ
留守	留守番電話：オン	留守番電話機能が「オン」のとき	77 ページ

着信時の表示例

固定回線への着信

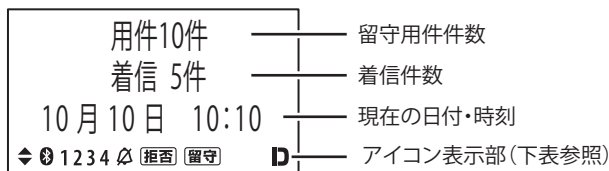
携帯電話への着信

固定回線をお使いの場合で、かけてきた相手の名前や電話番号を表示させたい場合は、ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。

かけてきた相手によって表示が異なります（☞ 68 ページ）。

各部のなまえ（液晶ディスプレイ・親機）

液晶ディスプレイには、使用状況に応じてさまざまな情報が表示されます。

待受中の表示例

表示アイコンについて

アイコン	内　容	こんなときに表示されます	参照ページ
1234	Bluetooth 1 ～ 4	Bluetooth 機器が登録されているとき	25 ページ
	着信音量：消音	着信音量が「消音」のとき	26 ページ
拒否	着信拒否	着信拒否設定が有効なとき	71 ～ 76 ページ
留守	留守番電話：オン	留守番電話機能が「オン」のとき	77 ページ
	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ設定が「オン」のとき	67 ページ

着信時の表示例

固定回線への着信　携帯電話への着信

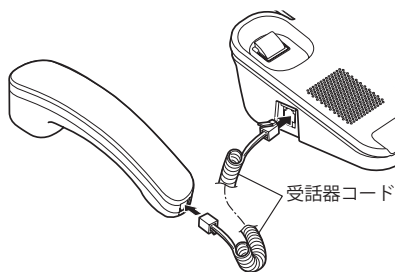
固定回線をお使いの場合で、かけてきた相手の名前や電話番号を表示させたい場合は、ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。

かけてきた相手によって表示が異なります（☞ 68 ページ）。

ご使用前の準備と設定

親機を準備する

1 受話器を取り付ける

付属の受話器に受話器コードを
取り付け、親機に取り付けます。

2 電話機コードをつなぐ

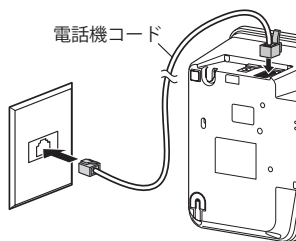
ご参考

本機を固定電話回線に接続せず、Bluetooth 接続による携帯電話回線のみでお使いになる場合は、電話機コードの接続は不要です。（➡ 次ページ「親機用 AC アダプターを取り付ける」に進む）

付属の電話機コードを接続します。

電話コンセントの種類

■ 3 ピンプラグ式のとき
アダプター（市販品）が必要です。

■直接配線方式のとき
資格者の工事が必要です。

1 回線に 2 台以上の電話や FAX を接続するとき

※ 本機のナンバー・ディスプレイ機能を使用するときは、ナンバー・ディスプレイ機能が有効な別の電話機を並列に接続しないでください（誤動作の原因になります）。
※「併設電話検出」設定を「オン」にすると、本機で留守番電話応答中にほかの電話で出るときに、留守番電話応答が自動で切れます。（設定方法は ☞ 95 ページ）

ADSL 回線に接続するとき

※ 種類によってはスプリッタ（市販品）などが必要です。詳しくはご契約の ADSL 事業者にお問い合わせください。

ISDN 回線に接続するとき

※ ターミナルアダプターによっては円滑に通信できないものがあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書を参照するか、またはメーカーにお問い合わせください。

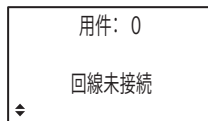
お知らせ

● ADSL や ISDN 回線に接続し、相手の声が聞きづらい場合は「TA/ スプリッタ」設定を「オン」にしてください。音質が改善される場合があります。（設定方法は☞ 95 ページを参照）

▌親機を準備する（つづき）

■こんなときは

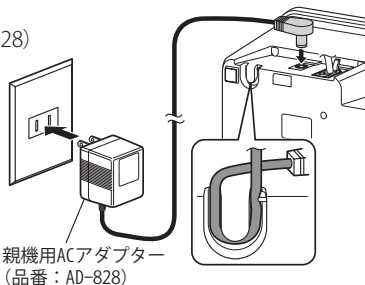
親機・子機ディスプレイに「回線未接続」と表示される

電話機コードが本機および壁面の電話コンセントに確実に接続されているか、再度確認してください。

3 親機用 AC アダプターを取り付ける

付属の親機用 AC アダプター（品番：AD-828）を家庭用コンセントに接続します。

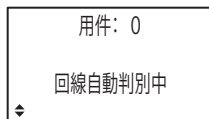
> **ご注意！**
> AC アダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。

親機用ACアダプター（品番：AD-828）

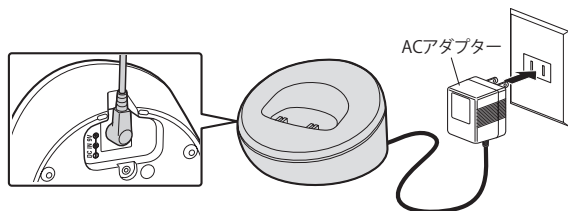
▼

電源投入後しばらくすると、電話の回線種別の自動選択が始まります。（詳しくは ☞ 24 ページ）

自動選択中は親機ディスプレイに右の画面が表示されます。自動選択（約 10 秒）が終わり、「回線自動判別中」の表示が消えれば設定完了です。

用件：0

回線自動判別中

※ 自動選択中は、電話機を操作しないでください。

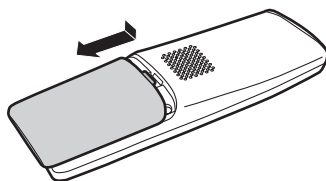
充電器を準備する

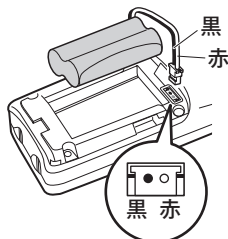
付属の充電器用 AC アダプター（品番：AD-826）を家庭用コンセントに接続します。

ご注意！
AC アダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。

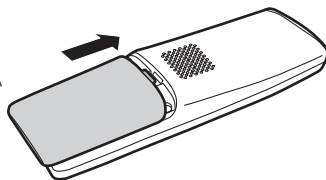
子機を準備する

はじめて本機をお使いになる前に、必ず充電してください。

バッテリーを入れる

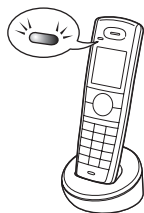
1 バッテリーカバーを開ける

2 バッテリーのプラグをコネクタに接続する

バッテリー端子を奥まで（カチッと音がするまで）きちんと押し込んでください。

3 バッテリーを入れ、バッテリーカバーを閉める

バッテリーケーブルをはさまないようご注意ください。

子機を準備する（つづき）

子機を充電する

子機を充電器の充電台に置く

充電ランプが点灯します。

✐ バッテリー未接続の子機を充電台に置いた場合でも、充電ランプが点灯します。
✐ バッテリーの状態によっては表示が出るまでに 1 時間程度かかることがあります。
✐ 子機は常に充電器に戻しておくことをおすすめします。
✐ 約 15 ～20 時間で満充電になります。（充電台にのせている間は満充電でも充電ランプが点灯しますが、過充電防止機能により安全にお使いいただけます。）
✐ 充電ランプは子機を取ると消えます。

通話中にバッテリー残量が少なくなると、警告音と共に「充電してください」のメッセージが点滅します。通話を終了し、子機を充電器に置いて充電してください。

使用時間のめやす

満充電の状態で使用できる時間	待受のみ	約 156 時間
	連続通話	約 6.5 時間

ご参考

- 長期間子機を使用しない場合は、バッテリーを子機からはずしてください。バッテリーを接続したままの場合、バッテリーの液漏れによる故障の原因となることがあります。
- 充電中、子機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電器の電源を抜くと子機が充電されず、使用時間が短くなります。
- 充電中は子機のキーは使用できません。

日付・時刻の設定

本機に関する各種の設定は、メニューモードで行います。
操作方法やメニューの詳細については「機能一覧」（☞ 94 ページ）をご覧ください。

ディスプレイに表示される現在の日付・時刻を設定します。
（1 ヶ月に約 60 秒ずれることがあります。）

※ ご購入後初めてお使いになるときは、自動的に手順 3 の画面が表示されます。
（メニュー）を押すと日付・時刻の設定をキャンセルし、待受画面となります。

本書におけるキー操作の表示説明について
※ 親機の場合は（　　）のキーを使います。
ただし キーについては親機・子機共通の表示としています。

1 （メニュー）を押す

2 で「日付時刻設定」を選び、を押す

子機設定
留守設定
日付時刻設定

親機設定
留守設定
日付時刻設定

3 年月日、および時刻を設定する

日付時刻設定
2012/01/01 00:00
[0-9/決定]

日付時刻設定
2012/01/01 00:00
[0-9/決定]

設定のしかた
～（）で数字を入力する

入力すると点滅部分が右へ移動します。
時間は 24 時間表示です。

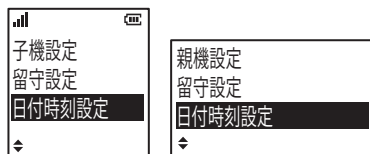
で設定することもできます
で数字を選び、 で点滅部分を移動する

■**設定途中でまちがえたときは**
で修正する位置に点滅部分を合わせ、再度入力してください。

4 「分」の設定が終わったら、を押す

「ピー」と音が鳴って設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

子機設定
留守設定
日付時刻設定

親機設定
留守設定
日付時刻設定

5 終了するには（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

ご注意！
停電したときは、日付・時刻が「初期値」に戻る場合があります。再度手順 1～4 を行い、設定してください。（着信履歴などに記録されていた日付・時刻は残ります。）

回線設定の確認

回線種別の自動選択（☞20 ページ）で、回線設定が正しく行われたかを確認します。

電話がかかることを確認する

117 番（時報）にダイヤルする（通話料金がかかります）

■電話がかからないとき

次の方法で回線種別を設定してください。

お使いの回線種別がわかっているとき

「プッシュ」「10pps」「20pps」のいずれかを選んでください。

お使いの回線種別がわからないとき・もう一度自動で設定するとき

「自動選択」を選んでください。

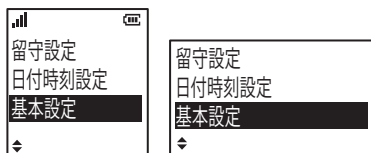
設　定	回線種別
自動選択	ご使用の回線種別を本機が自動判別します
プッシュ	プッシュ回線
10pps	ダイヤル回線 速度 10 pps
20pps	ダイヤル回線 速度 20 pps

回線種別を設定・変更するには

1 （メニュー）を押す

2 で「基本設定」を選び、を押す

留守設定
日付時刻設定
基本設定

留守設定
日付時刻設定
基本設定

3 「回線種別」が選択されているので、を押す

4 で回線種別を選ぶ

「自動選択」「プッシュ」「10pps」「20pps」のいずれかを選びます。

お買い上げ時設定：回線種別「自動選択」

5 を押す

「ピー」と音が鳴って設定が完了し、基本設定メニュー画面に戻ります。

6 終了するには

切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。
「自動選択」を選んだ場合は、しばらくすると自動選択が始まります。

■設定を変えても電話がかからないときは

順番に「プッシュ」「20pps」「10pps」の設定で試してください。
どの設定でも電話がかからないときは、NTT 窓口へお問い合わせください。

携帯電話を登録する（ペアリング）

お使いの Bluetooth 対応携帯電話を本機に登録します（ペアリング）。
最大4台まで登録・待ち受けできます（同時に通話できる携帯電話は1台のみです）。

ご注意！
- 本機は Bluetooth 機能を有するすべての携帯電話と Bluetooth 接続できることを保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth 機器によっては、一部の機能が動作しない場合があります。

本機での操作

1 （メニュー）を押す

2 で「Bluetooth」を選び、を押す

3 「携帯電話登録」を選び、を押す

携帯電話から登録
DECT3288
PIN：0000

携帯電話から登録
DECT3288
PIN：0000

画面が表示されたら、登録する携帯電話側で登録操作を行います。

登録する携帯電話での操作

4 登録する携帯電話と親機を、1m 以内におく

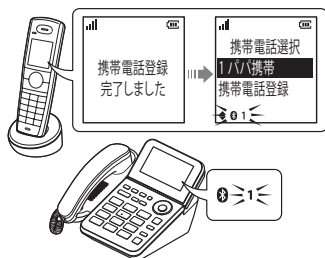
5 登録する携帯電話で登録操作をして、本機を検索する

登録する機器の画面に、検出した機器の一覧が表示されます。本機は“DECT3288”と表示されます。

登録操作方法は機器によって異なります。登録する携帯電話の操作については、ご使用の機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

6 登録する機器の画面で、“DECT3288”を選択する

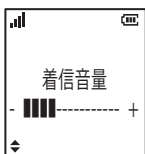
PIN（パスキー）を要求されたら、「0000」を入力してください。

7 登録が完了し、登録した携帯電話名が表示される

親機および子機画面下部にある Bluetooth 表示部（1～4 のいずれかが登録順に割り当てられます）が点灯すると、接続完了です。

着信音設定

着信音の大きさを変える

電話がかかってきたときの着信音量を 4 段階（消音／小／中／大）に設定できます。

待受中に を押す

子機ディスプレイ

親機ディスプレイ

押すごとに「消音」⇔「小」⇔「中」⇔「大」に切り替わり、その音量で着信音が鳴ります。

「消音」に設定した場合は、画面に アイコンが表示されます。

着信音の種類を設定する

電話がかかってきたときの着信音の種類を選べます。
固定回線（ホーム）、携帯電話（1 ～ 4）にそれぞれ個別に設定できます。

ご参考

- 本機には、かけてきた相手によって着信音を変えられる「着信鳴り分け」機能（☞ 70 ページ）もあります。
- 子機ごとに携帯電話の個別着信の設定ができます。（☞ 53 ページ）

■着信音の種類

ベル	パターン #1 ～ パターン #4
メロディ	メロディ #1 ～ メロディ #6

親機からの子機呼出や内線通話の呼出音は変更できません。

お買い上げ時設定：ホーム「パターン #1」
：携帯電話「パターン #2」

1 （メニュー）を押し、 で「子機設定」（親機設定）を選んで を押す

2 「着信音」が選択されているので、 を押す

3 で設定したい回線を選んで を押す

4 で着信音を選ぶ

カーソルを合わせると、その着信音が鳴ります。（消音に設定されているときは鳴りません。）

5 を押す

「ピー」と音が鳴って設定が完了し、前の画面に戻ります。

6 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

機能インデックス

本機には基本的な電話のかけかた／受けかたのほかにも、便利な機能がいろいろあります。詳しくは、それぞれの参照先ページをお読みください。

こんなとき		詳しくは
電話をかける	固定回線から電話をかける	28 ページ
	携帯電話から電話をかける	30 ページ
		31 ページ
	リダイヤルする	32 ページ
		33 ページ
	電話帳でかける	34 ページ
		35 ページ
	着信履歴からかける	36 ページ
		36 ページ
	スピーカーホンを使う（オンフック通話）	37 ページ
		37 ページ
	ワンタッチダイヤルでかける（親機のみの機能）	38 ページ
電話を受ける	固定回線から電話を受ける	40 ページ
		40 ページ
	携帯電話から電話を受ける	41 ページ
		41 ページ
通話中	相手の声の音量を変える	28, 30 ページ
		29, 31 ページ
	保留にする	28, 30 ページ
		29, 31 ページ
	キャッチホンを受ける	28, 30 ページ
		29, 31 ページ

お知らせ

- キーを押したときは、ディスプレイやキーのバックライトがオンになり、明るくなります。
- 「エコモード」（ECO）について
  外線・内線通話中など、子機と親機の通信時に、本機が接続環境良好と判断した場合には自動的に「エコモード」となり、無線送信電力を軽減することで電力消費を少なくします。
  — 「エコモード」中は子機ディスプレイにアイコン（ECO）が表示されます。
  — 「エコモード」のオン・オフは、本機が通信状況に応じて自動的に判断するため、お客様ご自身で機能をオン・オフすることはできません。

電話をかける

固定回線から電話をかける

子機

1 充電台から子機を取り、［通話キャッチ］を押す

- お買い上げ時はクイック通話（☞ 86 ページ）が「オフ」に設定されています。
  （クイック通話：充電器から子機を取り上げるだけで、通話状態になる機能です。）
- クイック通話が「オフ」の場合や、子機が充電器に載っていない場合は［通話キャッチ］を押してください。
- クイック通話が「オン」の場合は、充電台から子機を取り上げると通話状態になるので、そのまま手順 2 へ進みます。

2 数字キーでダイヤルする

- 「ツー」音が聞こえてからダイヤルしてください。
- 子機を取り、待受状態のときは、数字キーを押してから［通話キャッチ］を押してもかけられます。

3 相手と話す

通話時間が表示されます。

- 表示される通話時間はめやすです。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。
- ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけるとき（☞ 68 ページ）

4 通話を終了するには［切］を押すまたは充電台に子機を戻す

通話時間が約 5 秒間表示されます。

<通話中にはこんな操作ができます>

■相手の声の大きさを変える（受話音量）

［ナビキー］を押して音量を調節する

- 音量は 6 段階に調整できます。

■通話を保留する

［保留/消去 内線］を押す

- 転送画面が表示（10 秒間）されますが、外の相手との通話は保留になっています。
  通話に戻るには、［通話キャッチ］または［スピーカー］を押す
- 保留中、相手先にはメロディ（曲名:オーラ・リー）が流れます。
- 保留にしたまま約 5 分間放置すると、電話は自動的に切れます。

■キャッチホン（☞ 54 ページ）を受ける（NTT との契約が必要です）

［通話キャッチ］を押す

元の相手との通話に戻るには、もう一度［通話キャッチ］を押す

ほかにもこんなことができます

- ■通話を録音する（☞ 45 ページ）
- ■スピーカーホンを使う（☞ 37 ページ）
- ■ミュートを使う（☞ 50 ページ）
- ■ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（一時的にピポパ音に切り換えたいとき）（☞ 54 ページ）

電話をかける（つづき）

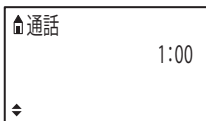
固定回線から電話をかける

親 機

1 待受中に受話器を取り、「ツー」音が聞こえたら数字キーでダイヤルする

通話
0123456789

2 相手と話す

通話時間が表示されます。

✐ 表示される通話時間はめやすです。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

✐ ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけるとき（☞ 68 ページ）

3 通話が終わったら受話器を戻す

通話時間が約 5 秒間表示されます。

1:23
終了しました

＜通話中にはこんな操作ができます＞

■相手の声の大きさを変える（受話音量）

（カーソルキー）を押して音量を調節する

✐ 音量は 6 段階に調整できます。

■通話を保留する

内線/保留 を押す

通話に戻るには 固定電話 を押す、
または受話器を取り上げる

✐ 保留中、相手先にはメロディ（曲名:オーラ・リー）が流れます。

✐ 保留にしたまま約 5 分間放置すると、電話は自動的に切れます。

■キャッチホン（☞ 40 ページ）を受ける（NTT との契約が必要です）

消去/取消 キャッチ を押す

元の相手との通話に戻るには
もう一度 消去/取消 キャッチ を押す

ほかにもこんなことができます

■通話を録音する（☞ 45 ページ）
■スピーカーホンを使う（☞ 37 ページ）
■ミュートを使う（☞ 50 ページ）
■ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（一時的にピポパ音に切り換えたいとき）（☞ **54 ページ**）

オンフック（受話器を置いたまま）でかけることもできます

待受中に …
受話器を置いたままダイヤルし、受話器を取る

または

待受中に …
受話器を置いたままダイヤルし、 を押す
相手が出たら受話器を取って話す

電話をかける（つづき）

携帯電話から電話をかける

子機

あらかじめ本機に Bluetooth 対応携帯電話を登録（ペアリング）する必要があります。（☞25 ページ）

1 数字キーでダイヤルする

[携帯電話] を押して先に携帯電話を選んでからダイヤルすることもできます。

2 [携帯電話] を押す

携帯電話選択画面が表示されます※。

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

で発信する携帯電話を選び、[携帯電話] または [決定] を押します。

3 相手と話す

通話時間が表示されます。

表示される通話時間はめやすです。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

4 通話を終了するには [切] を押すまたは充電台に子機を戻す

通話時間が約 5 秒間表示されます。

<通話中にはこんな操作ができます>

■相手の声の大きさを変える（受話音量）

[上下キー] を押して音量を調節する

音量は 6 段階に調整できます。

■通話を保留する

[保留/消去 内線] を押す

転送画面が表示（10 秒間）されますが、外の相手との通話は保留になっています。

保留中は [携帯電話] が点滅します。

通話に戻るには [携帯電話] を押す

保留にしたまま約 5 分間放置すると、電話は自動的に切れます。

■キャッチホン※を受ける（携帯電話会社との契約が必要です）

※携帯電話会社により呼称が異なります。

[携帯電話] を押す

元の相手との通話に戻るには、もう一度 [携帯電話] を押す

上記は代表的な操作方法です。お使いの携帯電話によっては操作方法が異なる場合があります。

ほかにもこんなことができます

■通話を録音する （☞ 45 ページ）
■ミュートを使う （☞ 50 ページ）
■スピーカーホンを使う （☞ 37 ページ）

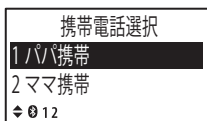
電話をかける（つづき）

携帯電話から電話をかける

親機

あらかじめ本機に Bluetooth 対応携帯電話を登録（ペアリング）する必要があります。（☞25 ページ）

1 待受中に [携帯電話] を押す

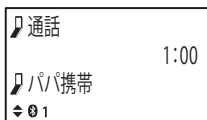
携帯電話選択画面が表示されます。

で発信する携帯電話を選び、

を押します。

2 「発信」が選ばれているので を押す

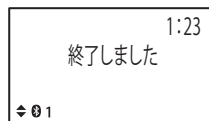
3 数字キーでダイヤルする

4 受話器を取り、相手と話す

通話時間が表示されます。

表示される通話時間はめやすです。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

5 通話を終了するには受話器を戻す

通話時間が約 5 秒間表示されます。

1:23
終了しました
1

<通話中にはこんな操作ができます>

■相手の声の大きさを変える（受話音量）

を押して音量を調節する

音量は 6 段階に調整できます。

■通話を保留する

[内線/保留] を押す

通話に戻るには [携帯電話] を押す、
または受話器を取り上げる

保留にしたまま約 5 分間放置すると、電話は自動的に切れます。

■キャッチホン※を受ける
（携帯電話会社との契約が必要です）
※携帯電話会社により呼称が異なります。

[消去/取消 キャッチ] を押す

元の相手との通話に戻るには
もう一度 [消去/取消 キャッチ] を押す

上記は代表的な操作方法です。お使いの携帯電話によっては操作方法が異なる場合があります。

ほかにもこんなことができます

■通話を録音する （☞ 45 ページ）
■ミュートを使う （☞ 50 ページ）
■スピーカーホンを使う （☞ 37 ページ）

電話をかける（つづき）

前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル）

子機

本機には一度かけた電話番号が 10 件まで記憶されます。10 件を超えると、古い番号から順に書き換えられます。

✐ 子機ごとにそれぞれ個別の内容でリダイヤルリストがあります。

1 [リダイヤル/ポーズ] **を押す**

直前にかけた電話番号が表示されます。

✐ 電話帳に登録されている番号の場合は、電話帳の登録名が表示されます。

 でかける相手を選びます。

2 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

 または [スピーカー] を押す

携帯電話でかけるとき

 を押し、

で発信する携帯電話を選び※、

 または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

お知らせ

固定電話の場合は、以下の方法でもかけられます。

 を押す（ツーという音が鳴っている状態）

▼

[リダイヤル/ポーズ] を押す

リダイヤルリストが表示されます。

▼

 でリダイヤル番号を選ぶ

▼

 を押す

■記憶されている番号を消去する

待受中に [リダイヤル/ポーズ] を押し、消去する番号を で選んで を押す

✐ 詳細画面を表示するには、電話番号を選んで を押します。

▼

「消去」が選択されているので

 を押す

▼

「はい」が選択されているので

 を押す

電話をかける（つづき）

前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル）

親機

本機には一度かけた電話番号が 10 件まで記憶されます。10 件を超えると、古い番号から順に書き換えられます。

1 リダイヤル/ポーズ を押す

直前にかけた電話番号が表示されます。

電話帳に登録されている番号の場合は、電話帳の登録名が表示されます。

でかける相手を選びます。

0123456789
09012345678

2 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

 を押す

携帯電話でかけるとき

 を押し、

で発信する携帯電話を選び※、

 または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

お知らせ

固定電話の場合は、以下の方法でもかけられます。

受話器を取る（ツーという音が鳴っている状態）

▼

リダイヤル/ポーズ を押す

リダイヤルリストが表示されます。

▼

 でリダイヤル番号を選ぶ

▼

 を押す

■記憶されている番号を消去する

待受中に リダイヤル/ポーズ を押し、消去する番号を

で選んで を押す

詳細画面を表示するには、電話番号を選んで を押します。

▼

「消去」が選択されているので

 を押す

▼

「はい」が選択されているので

 を押す

電話をかける／受ける

電話をかける（つづき）

電話帳でかける

子機

電話帳への登録のしかたは ☞ 55 ページをご覧ください。

1 を押す

電話帳のグループ一覧が表示されます。

表示は一例です。登録されているグループ名が表示されます。

2 でグループを選び、を押す

グループ内に登録されている電話帳が表示されます。

3 で相手を選ぶ

押すたびに順に変わり、押し続けるとスクロール表示します。
または 1 ～ 0 で名前の頭文字(あ行～わ行）から探すこともできます。

4 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

または を押す

携帯電話でかけるとき

を押し、

で発信する携帯電話を選び※、

または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

お知らせ

固定電話の場合は、以下の方法でもかけられます。

外線通話中、または を押したあと、手順 1 ～ 3 で電話帳を選んで を押す

電話をかける／受ける

電話をかける（つづき）

電話帳でかける

親機

電話帳への登録のしかたは ☞ 55 ページをご覧ください。

1 を押す

電話帳のグループ一覧が表示されます。

表示は一例です。登録されているグループ名が表示されます。

2 でグループを選び、を押す

グループ内に登録されている電話帳が表示されます。

3 で相手を選ぶ

押すたびに順に変わり、押し続けるとスクロール表示します。
または 1 〜 0 で名前の頭文字（あ行〜わ行）から探すこともできます。

4 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

受話器を取る、または を押す

携帯電話でかけるとき

を押し、
で発信する携帯電話を選び※、
または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

お知らせ

固定電話の場合は、以下の方法でもかけられます。

外線通話中、または受話器を取ったあと、手順 1 〜 3 で電話帳を選んで を押す

電話をかける（つづき）

着信履歴からかける

本機には最大 50 件の着信履歴が記憶されます。（☞ 69 ページ）

✐ ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。

子機

1 待受中、 を押す

2 で相手を選ぶ

押し続けるとスクロール表示します。

3 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

 または スピーカー を押す

携帯電話でかけるとき

 を押し、

で発信する携帯電話を選び※、

 または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

親機

1 待受中、 を押す

2 で相手を選ぶ

押し続けるとスクロール表示します。

3 回線を選んで発信する

固定電話でかけるとき

受話器を取る、または を押す

携帯電話でかけるとき

 を押し、

で発信する携帯電話を選び※、

携帯電話 または を押す

※ 登録されている携帯電話が1台のみの場合は選択画面は表示されません。

番号がダイヤルされます。

電話をかける（つづき）

スピーカーホンの使いかた

スピーカーホン通話にすると、相手の声はスピーカーから聞こえます。
話すときは、送話口に向かって話してください。

子機

■**子機でスピーカーホンを使う場合は**

通話をするときは子機を充電器からはずし、送話口に向かってお話しください。

ご注意！
充電台にのせていると通話はできません。

［スピーカー］を押す

スピーカーホンの使用中は 🔊 アイコンが表示されます。

もう一度［スピーカー］を押すと、通常の通話に戻ります。

親機

■**親機でスピーカーホンを使う場合は**

通話をするときは親機のマイクに向かってお話しください。

［固定電話］を押す

受話器を取ると、通常の通話に戻ります。

- 周囲が騒がしいときは相手の声が聞き取りにくくなります。スピーカーホンは静かなところでお使いください。
- 通話中に相手の声が途切れる場合は交互にお話しください。

■**音の大きさを変えるには（スピーカー音量）**

通話中に［◇］を押す

- 音量は調整できます（子機：6 段階、親機 10 段階）。
- 音量は固定回線・携帯電話回線共通で設定されます（回線別の設定はできません）。

■**天気予報など、相手の声を聞くだけの場合に声が途切れるときは**

「ミュートを使う」（☞ 50 ページ）

電話をかける（つづき）

ワンタッチダイヤルでかける（親機のみ）

ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、登録した電話番号にかけることができます。

- ワンタッチダイヤルへの登録のしかたは（☞ 59 ページ）をご覧ください。
- 親機のみの機能です。また、使用できる回線は固定電話回線のみとなり、携帯電話回線を使用して本機能をお使いになることはできません。

■受話器で通話するとき

1 待受中、受話器を取る

2 ワンタッチダイヤル 1 2 3 ボタン（1 ～ 3 のうちいずれか）を押す

登録されている電話番号がディスプレイに表示されたあと、ダイヤルされます。

```
通話
山田太郎
0123450789
```

3 通話を終了するには受話器を戻す

■スピーカーホンで通話するとき

1 ワンタッチダイヤル 1 2 3 ボタン（1 ～ 3 のうちいずれか）を押す

登録されている電話番号がディスプレイに表示されたあと、ダイヤルされます。

```
通話
山田太郎
0123450789
```

- 受話器を取ると、受話器での通話に切り替えられます。

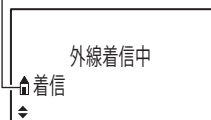
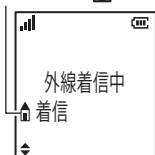
2 通話を終了するには 固定電話 を押す

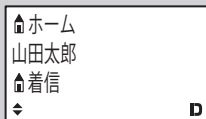
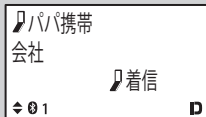
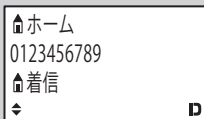
電話を受ける

着信音は、あらかじめ、種類（ベル／メロディ）・音量ともに変えておくことができます。（☞26 ページ）

お知らせ

- 着信音が鳴っている間、子機の着信ランプが点滅し、ディスプレイやキーが明るくなります。
- 着信音が鳴っているとき［再生/ミュート］または［切］（親機の場合は［◎］）を押すと、その着信に限り着信音をミュートできます。
  次回の着信からは、設定された着信音の大きさ・種類に戻ります。（☞ 26 ページ）
- 子機の場合、エニーキー応答をオンにすると、子機を取り上げて［0］～［9］、［＊］、［#］のいずれかのキーを押しても電話を受けられます。（☞ 86 ページ）

1 電話がかかってきたら…

■着信時の画面表示例

ネームディスプレイ加入時（固定回線の場合）、または相手の名前が本機の電話帳に登録されている場合

ナンバーディスプレイ加入時（固定回線の場合）、または相手が携帯電話の場合

固定回線から着信を受ける ☞次ページ

携帯電話から着信を受ける ☞ 41 ページ

電話を受ける（つづき）

固定回線から着信を受けるとき

（携帯電話から着信を受けるときは　☞次ページ）

子機

2 [通話キャッチ] または [スピーカー] を押す

✐ クイック通話をオンに設定しておくと、充電台から子機を取るだけで通話できます。（☞ 86 ページ）

3 相手と話す

通話中は、電話をかけるとき（☞28 ページ）と同様、次の操作が可能です。

■ 相手の声の大きさを変える（受話音量）
■ 通話を保留する
■ キャッチホンを受ける（NTT との契約が必要です）
■ 通話を録音する（通話録音）
■ スピーカーホンに切り替える

4 通話を終了するには

[切] を押す
または充電台に子機を戻す

親機

2 受話器を取る

✐ スピーカーホンで通話をする場合は [固定電話] を押します。

3 相手と話す

通話中は、電話をかけるとき（☞29 ページ）と同様、次の操作が可能です。

■ 相手の声の大きさを変える（受話音量）
■ 通話を保留する
■ キャッチホンを受ける（NTT との契約が必要です）
■ 通話を録音する（通話録音）
■ スピーカーホンに切り替える

4 通話を終了するには

受話器を戻す

✐ スピーカーホンの場合は を押します。

電話を受ける（つづき）

携帯電話から着信を受けるとき

子機

2 [携帯電話]を押す

クイック通話をオンに設定しておくと、充電台から子機を取るだけで通話できます。（☞ 86 ページ）

3 相手と話す

通話中は、電話をかけるとき（☞ 30 ページ）と同様、次の操作が可能です。

- ■ 相手の声の大きさを変える（受話音量）
- ■ 通話を保留する
- ■ キャッチホンを受ける※（携帯電話会社との契約が必要です）

※携帯電話会社により呼称が異なります。

- ■ 通話を録音する（通話録音）
- ■ スピーカーホンに切り替える

4 通話を終了するには

[切]を押す

または充電台に子機を戻す

親機

2 受話器を取る

スピーカーホンで通話をする場合は [携帯電話] を押します。

3 相手と話す

通話中は、電話をかけるとき（☞ 31 ページ）と同様、次の操作が可能です。

- ■ 相手の声の大きさを変える（受話音量）
- ■ 通話を保留する
- ■ キャッチホンを受ける※（携帯電話会社との契約が必要です）

※携帯電話会社により呼称が異なります。

- ■ 通話を録音する（通話録音）
- ■ スピーカーホンに切り替える

4 通話を終了するには

受話器を戻す

スピーカーホンの場合は を押します。

別の子機に電話をまわす

子機を2台以上お持ちの場合は、外からの電話を別の子機にまわすことができます。

子機の増設が必要です。(☞ 90 ページ)

呼出元で

1 外線通話中に 保留/消去 内線 を押す

外の相手との通話が保留になります。相手先にはメロディが流れます。

2 で通話したい相手の子機を選び (10秒以内)、 を押す

呼出先で

3 呼出音が鳴ったら、 通話 キャッチ または 保留/消去 内線 を押す

「クイック通話」がオンのとき：充電台から子機を取り上げただけで受けられます。(☞ 86 ページ)

4 呼出元と内線通話する

5 固定回線のとき

通話 キャッチ を押す

携帯電話のとき

携帯 電話 を押す

呼出元との内線通話が切れ、外の相手と通話できます。

お知らせ

- 呼出先の子機が出ないときや内線通話中に、外の相手との通話に戻る場合は
  固定回線のとき： 通話 キャッチ または スピーカー を押します。
  携帯電話のとき： 携帯 電話 を押します。
- ミュートを使っているときに電話をまわす操作をすると、ミュートは解除されます。(☞ 50 ページ)。

通話したい相手の子機が近くにあるとき（子機間の内線通話をしない）

1 外の相手と通話中に 保留/消去 内線 を押す

2 電話をまわすことを、相手に声で直接伝える

3 別の子機側で電話を受ける

固定回線のとき： 通話 キャッチ または スピーカー を押す

携帯電話のとき： 携帯 電話 を押す

電話を他の子機に回さず、外の相手との通話に戻るときも操作は同様です。

子機から親機に電話をまわす

子機でとった外からの電話を、親機にまわすことができます。

子機

1 外線通話中に [保留/消去 内線] を押す

外の相手との通話が保留になります。
相手先にはメロディが流れます。

2 [十字キー] で親機を選び(10 秒以内)、[決定キー] を押す

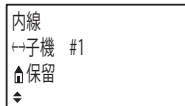
親機

3 呼出音が鳴ったら受話器を取る

4 子機と内線通話する

内線
↔子機　#1
保留

5 固定回線のとき

を押す

携帯電話のとき

[携帯電話] を押す

または子機側で通話を終了する

子機との内線通話が切れ、外の相手と通話できます。

ご参考

上記手順 **3** で

または

を押すと、選んだ回線でのスピーカーホン通話になります。

いろいろな機能を使う

親機から子機に電話をまわす

親機でとった外からの電話を、子機にまわすことができます。

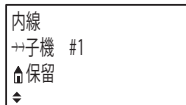
親機

1 外線通話中に 内線/保留 を押す

外の相手との通話が保留になります。
相手先にはメロディが流れます。

2 で通話したい相手の子機を選び（10 秒以内）、を押す

内線
↔子機　#1
保留

子機

3 呼出音が鳴ったら

「クイック通話」がオンのとき：充電台から子機を取り上げただけで受けられます。（☞ 86 ページ）

4 親機と内線通話する

5 固定回線のとき

携帯電話のとき

子機との内線通話が切れ、外の相手と通話できます。

通話を録音 / 再生する

通話の内容を録音することができます。録音できる時間は留守電の用件録音と合わせて最大 12 分です。

- 次の場合は録音できません（内線通話／ 3 者通話／グループ通話／スピーカーホン通話［親機のみ］時）。
- 1 件当たりの用件録音時間は最大 10 分です。
- 電話を切ると、通話録音は自動的に終了します。

お知らせ

録音中、ミュートをオンにすると相手の声だけを録音できます。
（☞ 50 ページ）

録音を開始・終了する　子機

■録音を開始する

1 通話中に ◉ を押す

2 ◉ で「通話録音」を選び、◉ を押す

■録音を終了する

1 録音中に ◉ を押す

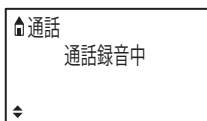
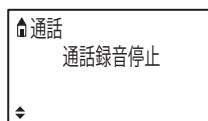
2 ◉ で「通話録音」を選び、◉ を押す

録音を開始・終了する　親機

1 通話中に［留守/通話録音］を押す

通話
通話録音中

2 録音を終了するには、もう一度［留守/通話録音］を押す

通話
通話録音停止

通話を録音 / 再生する（つづき）

再生する

子機

1 待受中に [再生/ミュート] を押す

「子機リモート」状態になります。

2 で「全件再生」を選び、を押す

3 再生が終わると…

「用件再生は終了しました」とアナウンスされます。

■再生中の用件を消去するとき

[4] を押す

4 終了するには [切] を押す

親機

1 待受中に [留守/通話録音] または を押す

再生が始まります。

2 再生が終わると…

「用件再生は終了しました」とアナウンスされます。

■再生中の用件を消去するとき

[消去/取消 キャッチ] を押す

3 終了するには [決定] を押す

お知らせ

- 詳しい再生のしかたは（☞78, 79 ページ）
- 留守番電話に用件が録音されている場合は、その用件も再生されます。
- 録音した用件は消すことができます。（☞78 ページ）

グループ通話
（子機・親機と外の相手の3人で話す）

子機・親機と外の相手の 3 人で同時に通話することができます。

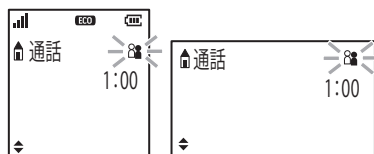
本機は、外線通話を始めた直後は、ほかの子機からの通話を受けないように設定されています。(グループ通話「オフ」）
グループ通話をするときは、あらかじめ通話中にグループ通話を「オン」にする必要があります。

グループ通話：オフ（通常時の設定です）

グループ通話ができません。

グループ通話：オン

グループ通話が可能です。

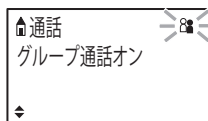
グループ通話が「オン」のときは アイコンが表示されます。

外線通話を切ると、次の外線通話では自動的に「オフ」設定に戻ります。

グループ通話
（子機・親機と外の相手の3人で話す）（つづき）

グループ通話をする

1 外の相手と通話中に
（）を押す

2「グループ通話」が選択されているので、◎を押す

「ピー」と音が鳴り、グループ通話がオンになります。

3 もう1台で電話を受ける

子機の場合：を押す

親機の場合：

■受話器で話すとき

受話器を取る（固定電話のみ）

■スピーカーホンで話すとき

固定電話 または 携帯電話 を押す

4 3人で話す

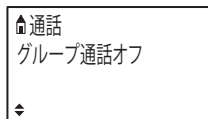
5 通話が終わったほうの通話を終了する

残りの1台と外の相手との2者通話に戻ります。

■同じ通話中で再度「オフ」にするとき

手順1～2を繰り返します。

「ピー」と音が鳴り、グループ通話がオフになります。

通話
グループ通話オフ

3者通話
（固定回線の相手・携帯電話の相手・自分の3人で話す）

本機、固定回線、および本機に登録された携帯電話で繋がっている相手の計3人で、同時に通話することができます。

✐ あらかじめ本機にBluetooth対応携帯電話を登録(ペアリング)する必要があります。(☞25ページ)

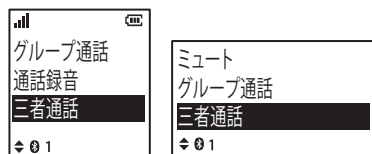
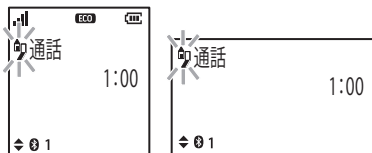
※本書では一例として、
① 固定回線で通話、保留する
② 携帯電話の回線で相手に電話をかける
③ 3者通話の設定をし、通話を始める
という手順で説明していますが、①で携帯電話、②で固定回線の順で通話しても同様に3者通話することができます。

1 通話中に［保留/消去 内線］（［内線/保留］）を押し、通話を保留にする

2 子機の場合：［切］を押す
親機の場合：受話器を置く

※ お使いの子機が1台のみ場合、この操作は不要です（**3** に進む）。

3 通話中でない回線（固定回線または携帯電話のいずれか）を利用して、通話に加えたい相手に電話をかける

4 電話がつながったらを押し、で「三者通話」を選ぶ

5 を押して3人で話す

✐ 3者通話中は アイコンが表示されます。

いろいろな機能を使う

携帯電話の通話を転送する

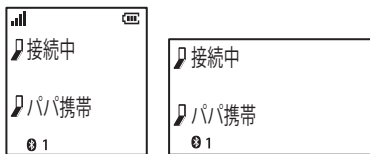
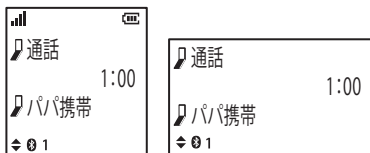
本機に登録された携帯電話で通話中の電話を、本機に転送することができます。

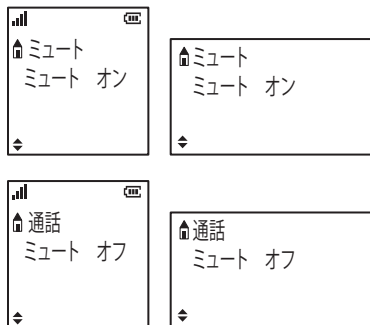
✐ あらかじめ本機に Bluetooth 対応携帯電話を登録（ペアリング）する必要があります。（☞25 ページ）

1 携帯電話側で音声を bluetooth デバイスに切り替える

（）が点滅します。

✐ 携帯電話側の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 携帯電話（携帯電話）を押す

3 接続に成功すると相手との通話が開始される

ミュートを使う

外線通話中に、こちら側のマイク音声を相手に聞こえないようにすることができます。

■子機の場合

通話中に 再生/ミュート を押す

押すたびにオン・オフが切り替わります。

✐ 電話を切ると、ミュートは自動的に解除されます。

■親機の場合

1 通話中に メニュー を押す

2「ミュート」が選ばれているので、決定 を押す

✐ ミュートを解除するには上記操作を再度行います。

✐ 電話を切ると、ミュートは自動的に解除されます。

親機または別の子機にかける（内線通話）

親機と子機で双方向に通話ができます。
子機を 2 台以上お持ちの場合は、子機どうしでも双方向に通話ができます。

子機どうしでの通話の場合、子機の増設が必要です。（☞ 90 ページ）

呼出元で

1 電話をかけていないとき、保留/消去 内線（内線/保留）を押す

2 で呼出先を選んで を押す

■ 呼び出しを中止するとき

切（内線/保留 または 消去/取消 キャッチ）を押す

呼出先で

3 呼出音が鳴ったら、

子機の場合：

通話 キャッチ または 保留/消去 内線 を押す

「クイック通話」がオンのとき：
充電台から子機を取り上げるだけで電話を受けられます。（☞ 86 ページ）

親機の場合：

■受話器で話すとき

受話器を取る

■スピーカーホンで話すとき

内線/保留 または 固定電話 を押す

4 話す

5 終わったら、

子機の場合： 切 を押す

親機の場合： 受話器を置く、
または
内線/保留 を押す

お知らせ

- 内線通話は、通話料金がかかりません。
- 内線通話中に外から電話がかかってくると、受話口から着信音が聞こえます。
  固定電話の場合は 通話 キャッチ（固定電話）、携帯電話の場合は 携帯電話（携帯電話）を押すと外の相手と通話できます。

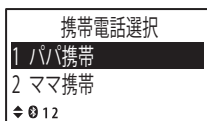
いろいろな機能を使う

Bluetooth 設定
（サブメニュー・再接続・個別着信・登録解除）

本機に登録（ペアリング）した携帯電話（☞25 ページ）に関する各種設定を行います。

「設定メニュー」を表示するには

1 （メニュー）を押し、で「Bluetooth」を選び、携帯電話（携帯電話）または を押す

本機に登録されている携帯電話が表示されます。

✐ メニューには携帯電話側で設定されている名称が表示されます。表示される名称を変更したい場合は、携帯電話側で設定を行ってください。
設定のしかたについてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

2 で設定したい携帯電話を選び、を押す

設定メニューが表示されます。

選んだ携帯電話との接続が【有効】なとき

選んだ携帯電話との接続が【無効】なとき

携帯電話に再接続する

本機にすでに登録されている携帯電話との間で接続が確立していない場合などに再接続を行います。

1 設定メニューを表示させる

2 「接続」が選ばれているので、
 を押す

接続が確立すると「ピー」と音が鳴り、下記画面に切り換わります。

■電話をかける（「発信」する）ときは

「携帯電話から電話をかける」
（☞ 30, 31 ページ）

Bluetooth 設定
（サブメニュー・再接続・個別着信・登録解除）（つづき）

本機に登録（ペアリング）した携帯電話（☞25 ページ）に関する各種設定を行います。

携帯電話の個別着信

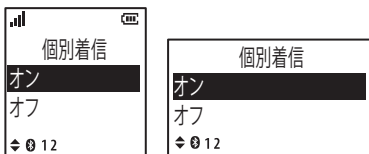
本機に携帯電話を登録している場合、子機・親機それぞれが、どの携帯電話の着信を受けるかを設定できます。

※ 子機・親機ごとに携帯電話の着信音を設定することもできます。（☞26 ページ）

✐ 1つの携帯電話に対して、すべての子機・親機において設定が「オフ」になっている場合は、設定は無効となり、全ての子機・親機で着信します。

1 設定メニューを表示させる

✐ 設定したい携帯電話を選んでいるか、あらかじめよく確認してください。

2 で「個別着信」を選び、を押す

3 「オン」または「オフ」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、設定メニューに戻ります。

4 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

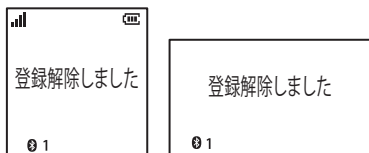
携帯電話の登録を解除する

本機に登録した携帯電話の登録を解除します。

1 設定メニューを表示させる

✐ 登録を解除したい携帯電話を選んでいるか、あらかじめよく確認してください。

2 で「登録解除」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。

3 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

キャッチホン／プッシュホンサービスを利用する

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンは、外線通話中に他から電話がかかってきた場合、通話中の相手を一時的に保留にして、新しくかかってきた相手と通話することができるサービスです。
キャッチホンのご利用については、最寄りの NTT の支店、または営業所にお申し込みください。

1 通話中に電話がかかってくると、キャッチホンの信号が入る

2 [通話/キャッチ]（[消去/取消 キャッチ]）を押す

新しくかかってきた相手につながります。

3 元の相手に戻るときは、もう一度[通話/キャッチ]（[消去/取消 キャッチ]）を押す

お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用になるにはNTT との契約が必要となります。
- キャッチホンサービスをご利用の場合、[通話/キャッチ]（[消去/取消 キャッチ]）を押してから新しくかかってきた相手に切り換わるまで、多少時間がかかることがあります。

プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線をご利用の場合でも、一時的にトーン信号（ピポパ音）に切り替えることで、チケット予約などのプッシュホンサービスをご利用になれます。

✎ プッシュ回線をご利用の場合、切り替える必要はありません。

1 電話をかける

2 [＊トーン]（[＊トーン]）を押す

以降、キーを押すとトーン信号（ピポパ音）が出せるようになります。

3 音声案内にしたがって操作を行う

お知らせ

電話を切ると、元のダイヤル回線の設定に自動的に戻ります。

電話帳に登録する

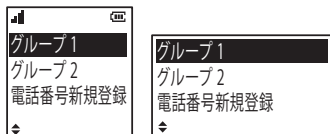
相手の名前や電話番号などを、最大 1,000 件まで登録できます。
電話帳は 5 つのグループに分けて登録できます。グループごとに名前をつけることもできますので（☞ 58 ページ）、例えばご家族で電話帳を分ける、などの管理も行えます。

✐ 電話帳を使ってかけるには、「電話帳でかける」（☞ 34, 35 ページ）をご覧ください。

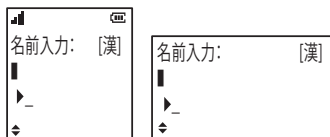
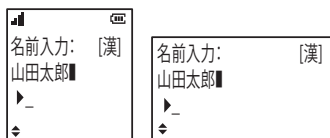
✐ 1,000 件登録されている場合は、電話帳の新規登録はできません。

✐ 電話帳データは親機で一元管理されているので、編集できるのは子機または親機の 1 台のみです。

1 を押す

グループ一覧が表示されます。

✐ 登録されているグループのみ表示されます。また、登録が 1 件もない場合は「電話番号新規登録」のみ表示されます。

2 で「電話番号新規登録」を選び、を押す

新規登録画面が表示されます。

3 名前を入力する

全角 8 文字、または半角 16 文字まで入力できます。

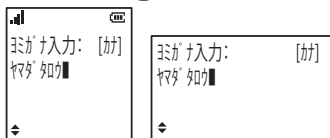
電話帳の文字入力に使うキー

入力	0わ ～ 9ら wxyz
文字種の切替	#文字切替サイレント（#文字切替）
変換・選択	
カーソルの移動	
文字消去	保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）
確定	

✐ 文字入力のしかたについて詳しくは「文字入力のしかた」（☞ 62 ページ～）をご覧ください。

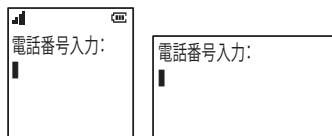
入力が終わったら を押す

4 よみがなを編集する

✐ よみがなは、手順 3 で入力した文字がそのまま半角文字で表示されます。変更不要な場合はそのまま を押してください。

半角のみ 16 文字まで入力できます。

編集が終わったら を押す

電話帳に登録する（つづき）

5 電話番号を市外局番から入力する

32 桁まで入力できます。

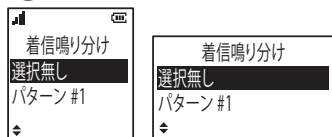
携帯電話回線を使用して電話をかけるときのために、電話帳には市外局番から登録しておくことをお勧めします。

入力が終わったら ◉ を押す

■電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れるとき

「184」または「186」を入力したあと電話番号を入力します。

6 着信鳴り分け（☞70 ページ）のための着信音を設定する

◎ で選び、◉ を押す

選択無し： 通常着信時と同じ着信音（☞26 ページ）で呼び出します。

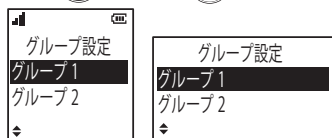
着信音オフ：着信音が鳴りません。

7 登録するグループを設定する

そのままで良い場合

◉ を押す

グループを変更する場合

で選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、登録内容が画面に表示されます。

■続けて登録するとき

◎ を押して手順 1 まで戻り、再度登録操作をしてください。

8 終了するには

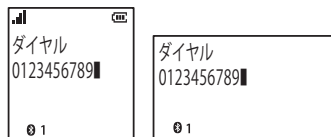
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

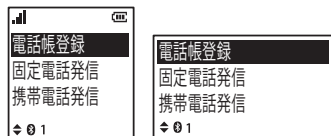
お知らせ

- 電話帳には、あらかじめ時報（117）・天気予報（177）・番号案内（104）が登録されています。（修正や消去もできます。）
- 誤操作、静電気、電波干渉、使用中に電源が切れるなどの影響により、登録内容が変化または消失する場合があります。大切な情報は、メモをして保管するようにしてください。

ダイヤル番号を入力して登録する

1 待受中に電話番号を入力する

ダイヤル
0123456789

2 ◉ を押す

サブメニューが表示されます。

（画面は Bluetooth 機器が接続がされている場合。）

3 電話帳登録が選ばれているので ◉ を押す

4 55 ページ手順 3 からの操作をする

電話番号の入力は不要です。

電話帳に登録する（つづき）

リダイヤルから電話帳に登録する

1 リダイヤル/ポーズ（リダイヤル ポーズ）を押す

0123456789
09012345678

2 で登録する番号を選ぶ

リダイヤル1
09012345678

リダイヤル1
09012345678

3 を押す

サブメニューが表示されます。

4 で「電話帳登録」を選び、を押す

5 55 ページの手順 3 からの操作をする

電話番号の入力は不要です。

着信履歴から電話帳に登録する

ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。（☞ 66 ページ）

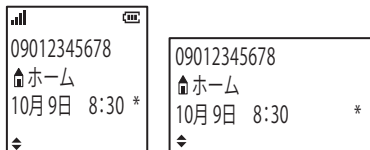
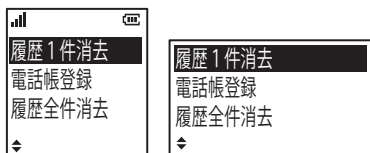
1 を押す

*0123456789
*09012345678

2 で登録する番号を選ぶ

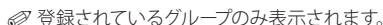
で詳細を確認することもできます。

09012345678
ホーム
10月 9日　8:30 *

09012345678
ホーム
10月 9日　8:30 *

3 を押す

サブメニューが表示されます。

4 で「電話帳登録」を選び、を押す

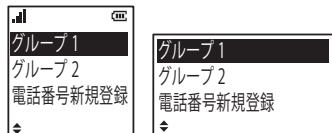
5 55 ページの手順 3 からの操作をする

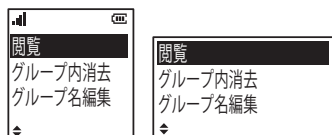
電話番号の入力は不要です。

グループに名前をつける

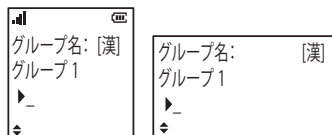
グループにはそれぞれ名前をつけることができます。
名前を変更する場合も同じ手順で行います。

1 を押す

グループ一覧が表示されます。

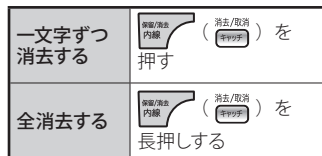
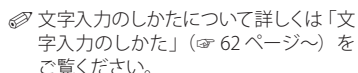
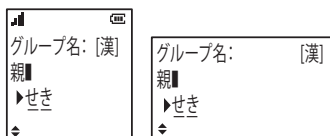
登録されているグループのみ表示されます。

2 で名前をつけたいグループを選び、を押す

電話帳サブメニューが表示されます。

3 で「グループ名編集」を選び、を押す

入力画面が表示されます。

グループ名: [漢]
グループ 1

現在のグループ名が表示されます。

消去するには

一文字ずつ消去する	保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）を押す
全消去する	保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）を長押しする

4 名前を入力する

名前入力のしかたは 55 ページ手順 3 と同様です。

文字入力のしかたについて詳しくは「文字入力のしかた」（☞ 62 ページ～）をご覧ください。

入力が終わったら を押す

「ピー」と音が鳴り、グループ一覧に戻ります。

5 終了するには

（ ）を押す

待受画面に戻ります。

電話帳

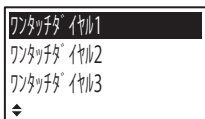
ワンタッチダイヤルを登録する（親機のみ）

ワンタッチダイヤルに登録できる電話番号は、電話帳に登録されている番号となります。必要に応じ、あらかじめ登録を行ってください（☞ 55 ～ 56 ページ）。

ワンタッチダイヤルを登録する

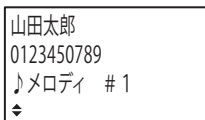
1 を押し、で「ワンタッチダイヤル登録」を選んでを押す

ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ1
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ2
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ3

2 で登録したいワンタッチダイヤル番号（1 ～ 3）を選び、を押す

3 「登録」が選ばれているので、そのままを押す

4 電話帳（☞ 60 ページ）が表示されるので、で登録したい電話番号（相手）を選び、を押す

山田太郎
0123450789
♪メロディ　# 1

5 登録するにはを押す

登録を終了し、電話帳メニュー画面に戻ります。

ご参考

登録済みのワンタッチダイヤルを変更する場合

操作のしかたは登録のときと同様です。
変更する場合、左記手順 **2** で変更したいワンタッチダイヤル番号を選び、手順 **4** で新しい電話番号を選んで登録すると、新しい番号が上書き保存されます。

ワンタッチダイヤルを消去する

1 を押し、で「ワンタッチダイヤル登録」を選んでを押す

ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

2 で消去したいワンタッチダイヤル番号（1 ～ 3）を選び、を押す

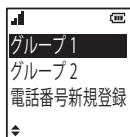
3 で「消去」を選び、を押す

消去を終了し、ワンタッチダイヤルメニュー画面に戻ります。

電話帳を閲覧・編集・消去する

● 本書では子機での操作・表示を例に説明しています。親機の場合は（　）に記載のキーで同様に操作できます。

1 待受中に を押す

グループ一覧が表示されます。

2 を押してグループを選ぶ

閲覧する

3 を押す

グループ内に登録されている電話帳が表示されます。

4 いずれかの方法で閲覧する

順送り、または逆送りに表示する

を押すたびに次のよみがなの順番で表示されます。

［未登録 ⇄ ｶｲ ⇄ 英 ⇄ 数 ⇄ 記号］

押し続けるとスクロール表示します。

よみがなで検索する

1 ～ 0（1 ～ 0）でよみがなを入力して探すこともできます。

よみがなが入力されるたび、最も近い候補が表示されます。

を押すと、よみがな検索から順送り表示に切り換わります。

を押すと、よみがな検索を中止して前の画面に戻ります。

閲覧を終了する

5 終わったら （メニュー）を押す

閲覧のみ、外線通話中も1～4の手順で可能です。終わったら で戻ることができます。

子機の場合、 は通話が終了してしまうので、押さないでください。

電話帳

閲覧中の電話帳を編集（修正）する

5 （決定ボタン）を押す

サブメニューが表示されます。

6 「編集」が選択されているので、（決定ボタン）を押す

現在の登録内容が表示されます。

7 55 ページ手順 3 からの操作を行い、新しい内容を登録する

表示内容を消去するには

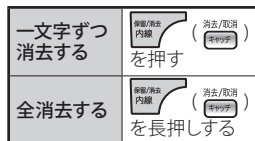
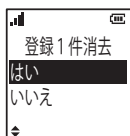
一文字ずつ消去する	保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）を押す
全消去する	保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）を長押しする

閲覧中の電話帳を消去する

5 （決定ボタン）を押す

サブメニューが表示されます。

編集
消去
指定番号拒否登録

6 （上下ボタン）で「消去」を選び、（決定ボタン）を押す

確認画面が表示されます。

7 （上下ボタン）で「はい」を選び、（決定ボタン）を押す

「ピー」と音が鳴り、グループ内の電話帳表示に戻ります。

8 終了するには 切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

グループ内の電話帳を全件消去する

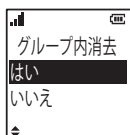
3 （決定ボタン）を押す

電話帳サブメニューが表示されます。

4 （上下ボタン）で「グループ内消去」を選び、（決定ボタン）を押す

確認画面が表示されます。

グループ内消去
はい
いいえ

5 （上下ボタン）で「はい」を選び、（決定ボタン）を押す

「ピー」と音が鳴り、グループ一覧に戻ります。

6 終了するには 切（メニュー）を押す

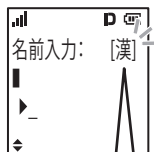
待受画面に戻ります。

▌文字入力のしかた

電話帳に相手の名前を登録するとき（☞ 55 ページ）や、子機の名前を登録するとき（☞ 87 ページ）は、次の手順を参照してください。

文字入力画面で…

1 [#文字切替サイレント] を押して文字の種類（入力モード）を選ぶ

押すごとに入力モードが切り替わります。

2 文字を入力する

任意の文字を入力します。

✐ 各キーを押すたびに割り当てられた文字が順番に表示されます。（例：あ、い、う、… → ぉ）
[リダイヤル/ポーズ] を押すと、逆順で表示されます。（例：ぉ、ぇ、ぅ、→ あ）

■ひらがな／漢字

▶すずき

✐ 変換前に一度に入力できる文字は最大7文字です。

■カタカナ／数字／英字　（半角・全角）

入力モード [A] [AB]

P　h　o　n　e

（1 回）（5 回）（6 回）（1 回）（5 回）（5 回）

入力モード [1] [12]

1　2　3　4

（1 回）（1 回）（1 回）（1 回）

挿入・修正・消去する

■挿入する	挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力する
■修正する	修正する文字を選んで（点滅させて）[保留/消去 内線]（[消去/取消 キャッチ]）で消し、正しい文字を入れ直す
■1 文字ずつ消去する	消去する文字にカーソルを移動し、[保留/消去 内線]（[消去/取消 キャッチ]）を押す
■全消去する	[保留/消去 内線]（[消去/取消 キャッチ]）を長押し（約 2 秒）する

電話帳

●「文字入力のしかた」（62 ～ 65 ページ）については、子機で入力する場合の手順を説明しておりますが、親機でも同様に操作・入力できます。

ひらがなにする

3 で確定する

→ すずき

漢字に変換する

3 で選ぶ

押すたびに変換候補が表示されます。

▶鈴木

▶スズキ

全角カタカナにも変換できます。

4 で確定する

確定した文字が上段に表示されます。

→ 鈴木

→ スズキ

変換中にひらがなに戻す

（消去/取消 キャッチ）を押す

文字の区切りを変える

、 を押す

下線位置が変わります。

3 で確定する

→ スズキ　（ｽｽﾞｷ）

→ Ｐｈｏｎｅ (Phone)

→ １２３４　(1234)

こんなときは

■同じキーの文字を続けて入力する

でカーソルを右に移動させ、次の文字を入れる

入力モードが［漢］、［カ］、［ｶﾅ］、［A］、［AB］のときに使えます。

例）「あい」と入力するとき

あ	カーソルを移動	い
1	→	1
（1 回）	（1 回）	（2 回）

■スペース（空白）を入れる

でカーソルを右に移動させ、次の文字を入れる

■カーソルを移動する

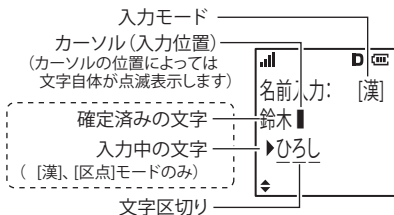
、 を押す

■途中で文字入力をやめる

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

ご参考　文字入力画面のみかた

電話帳

文字入力のしかた（つづき）

区点コードで入力する

ご参考　区点コード入力について

区点コード一覧表（☞ 91 ～ 94 ページ）の数字４桁を入力して変換することで、該当する文字や記号に変換されます。

例）「★」を入力したいとき

★＝　区点１～３桁目　：019
　　　区点４桁目　　　：0

「0190」と入力し、変換します。

文字入力画面で…

1 [#] を繰り返し押して、文字の種類（入力モード）を［区点］にする

2 区点コード（４桁）を入力する

区点コード一覧表（☞ 103 ～ 106 ページ）を参照し、該当する４桁の数字を入力します。

例：「湘」（区点コード 3037）

3 [3]（１回）　0 [0]（１回）　3 [3]（１回）　7 [7]（１回）

3 [○] で変換する

押すたびに変換、無変換に切り替わります。

▶湘

▶3037

✐ ４桁入力していない、入力した数字に該当する文字がない場合などは変換されず、警告音が鳴ります。

4 [●] で確定する

確定した文字が上段に表示されます。

湘

✐ 区点コード（無変換のまま）では確定できません。（警告音が鳴ります。）

■続けて入力するとき

手順２から操作してください。

電話帳

文字入力のしかた（つづき）

文字列一覧表（文字リスト）

各キーを押すたびに割り当てられた文字が順番に表示されます。（例:あ、い、う、… → ぉ）

［リダイヤル/ポーズ］（リダイヤル ポーズ）を押すと、逆順で表示されます。（例：ぉ、ぇ、ぅ、→ あ）

- 最大入力文字数には、スペースも１文字分として含まれます。
- 一覧表の文字とディスプレイに表示される文字の形は、異なることがあります。

入力モード キー	全角			
	［漢］	［カ］	［A］	［1］
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	＠．，：／＿－＃＊	１
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ	２
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ	３
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ	４
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ	５
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ	６
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	７
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ	８
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ	９
0	わをん、。ー（空白）	ワヲン、。ー（空白）	！？＆（）＜＞（空白）’”	０
＊	濁点／半濁点		無効	無効

入力モード キー	半角			全角
	［ｶﾅ］	［AB］	［12］	［区点］
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@.,:/_-#*	1	
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2	
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3	
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4	
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5	区点コードについては区点コード一覧表（☞103～106ページ）をご覧ください。
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6	
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7	
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8	
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9	
0	ﾜｦﾝ､｡ｰ（空白）	!?&()<>（空白）'"	0	
＊	濁点／半濁点	無効	無効	

電話帳

ナンバー・ディスプレイサービスを使うには

本機はNTT東日本、NTT西日本の「ナンバーディスプレイ」・「ネームディスプレイ」・「キャッチホンディスプレイ」 サービス に対応しています。

- ナンバー・ディスプレイは、かけてきた相手の電話番号が、電話に出る前にディスプレイに表示されるサービスです。
- ネーム・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレサービスのオプション機能で、電話をかけてきた相手の発信者名（会社名や名前）がディスプレイに表示されるサービスです。あらかじめ電話機に登録しなくてもかけてきた相手の名前が表示されるので、初めてかかってきた相手でも、誰からの着信かを確認することができます。（発信者もネーム・ディスプレイサービスに加入している必要があります。）
- キャッチホン・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレイサービスのオプション機能で、待受中の着信だけでなく、外線通話中に他から電話がかかってきた際、相手の電話番号がディスプレイに表示されるサービスです。新しくかかってきた相手への通話の切り替えが、電話番号を確認したあとでできるようになります。

1 NTTと契約する（有料）

NTT窓口にお申し込みください。

ナンバー・ディスプレイサービス、
ネーム・ディスプレイサービス、
キャッチホン・ディスプレイサービス
に関するお問い合わせ・お申し込み先
NTT窓口　116番（通話料金無料）

2 ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイの設定をする

（☞ 67ページ）

3 NTTの工事終了後にサービスが利用できます

工事日数についてはNTT窓口へお問い合わせください。

ご注意！

- ビジネスホンやホームテレホン、構内交換機（PBX）に接続してお使いになる場合は、設定を「オフ」にしてください（☞ 67ページ）。
- ナンバー・ディスプレイのご利用開始後にナンバーディスプレイの設定を「オフ」にすると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5〜6回鳴ります。
  このとき電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。

お知らせ

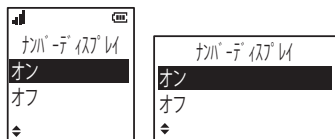
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用してご利用になれない場合があります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。
- ISDN回線でお使いになる場合
  - ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプター（TA）をお使いください。
  - ターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは設定を「オフ」にしてください（☞ 67ページ）。

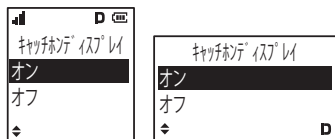
ナンバー・ディスプレイサービスを使うには（つづき）

電話機のナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイの設定をする

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。（☞ 66 ページ）
- 工場出荷時の設定は、ナンバーディスプレイ設定「オン」、キャッチホン・ディスプレイ設定「オフ」になっています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しない場合は、「オフ」にしてください。

1 （メニュー）を押し、で「ナンバーディスプレイ」を選び、を押す

ナンバー・ディスプレイの設定画面が表示されます。

2 で「オン」を選び、を押す

キャッチホン・ディスプレイの設定画面が表示されます。

- 次の手順のキャッチホン・ディスプレイの設定を完了するまでは、ナンバー・ディスプレイの設定が電話機に反映されません。
- ナンバー・ディスプレイの設定が「オン」のとき、ネーム・ディスプレイも同時に有効になります。（ネーム・ディスプレイサービスの契約が必要です。☞ 66 ページ）

3 「オン」または「オフ」を選び、

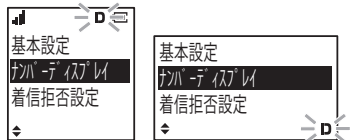
を押す

- キャッチホンディスプレイサービスを利用する場合は「オン」に設定してください。

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

ナンバー・ディスプレイ設定が「オン」のときは D アイコンが表示されます。

4 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

ナンバー・ディスプレイサービスの利用をやめるとき

NTT へ解約の連絡をしてから、設定を「オフ」にします。
「ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイの設定をする」の手順 1 ～ 2 を行い、手順 3 で「オフ」を選んでください。

※ ナンバー・ディスプレイの設定を「オフ」にすると、キャッチホン・ディスプレイの設定も同時に「オフ」となります。

お知らせ

- 再度ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、NTT と再契約したあと手順 3 で「オン」を選んでください。
- キャッチホン・ディスプレイの設定画面は、ナンバー・ディスプレイを「オン」に設定したときのみ表示されます。

電話を受けるとき／かけるとき

ナンバー・ディスプレイサービスを利用して電話を受けるとき

電話がかかってくると、相手の電話番号が表示されます。

✎ ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。(☞ 66 ページ)

電話帳に登録した相手の場合

名前も表示されます。

ホーム
山田太郎
着信

✎ 電話帳に登録していなくても、相手がネーム・ディスプレイサービスに加入している場合は、名前が表示されます。(ネーム・ディスプレイサービスの契約が必要です。☞ 66 ページ)

相手の電話番号を表示できない場合のディスプレイ表示 (子機表示例)

表示	説明
ホーム 非通知 着信	電話番号を通知していないとき
ホーム 公衆電話 着信	公衆電話のとき
ホーム 表示圏外 着信	海外など電話番号を通知できない電話のとき
ホーム 表示エラー 着信	回線状態が悪いとき

こんなことができます

機　能	詳　細
着信履歴	かけてきた相手の電話番号を自動記憶 ☞ 69 ページ
指定番号拒否	☞ 71 ページ
非通知着信拒否	☞ 74 ページ
公衆電話着信拒否	☞ 75 ページ
表示圏外着信拒否	☞ 76 ページ

電話番号を通知して電話をかける

ご利用の回線が「通常通知（通話ごと非通知）」の契約の場合は、通常のダイヤルで電話番号が通知されます。
NTT に「通常非通知（回線ごと非通知）」を申し込んでいる場合は、次の手順で電話をかけてください。

「186」をダイヤルし、続けて相手先をダイヤルする

電話番号を通知せずに電話をかける

NTT に「通常非通知（回線ごと非通知）」を申し込んでいる場合は、通常のダイヤルでは電話番号は通知されません。
ご利用の回線が「通常通知（通話ごと非通知）」の契約の場合は、次の手順で電話をかけてください。

「184」をダイヤルし、続けて相手先をダイヤルする

✎「通常通知」、「通常非通知」については NTT 窓口 (☞ 66 ページ) へご相談ください。

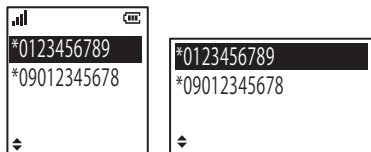
かかってきた電話の番号を見る／使う（着信履歴）

かかってきた相手の電話番号と日付が最大 50 件まで記憶され、あとで確認したり、電話をかけ直したりすることができます。

- 本機能は固定回線・携帯電話のどちらでもお使いいただけます。ただし、固定回線でお使いになる場合はナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です（☞ 66 ページ）。
- 50 件すでに登録されている場合には、新しい着信があると古いデータから順に書き換えられます。
- 親機および登録されている全部の子機が、内容の同じ着信履歴メモリを共有しているので、同時に電話帳登録、または消去ができるのは、子機または親機の 1 台のみです。

着信履歴を確認する

1 待受中に を押す

番号がリスト表示されます。

- はじめて見るデータの場合、番号の頭に＊が表示されます。一度､詳細画面を表示すると、2 回目以降の確認時からは表示されません。
- 電話帳に名前が登録されているか、ネームディスプレイに加入している場合は名前が表示されます。

2 で番号を選ぶ

で詳細を確認することもできます。

09012345678
パパ携帯
10月 9日 8:30*

- で履歴を順送りに表示できます。
- で手順1の画面に戻ります。

3 ダイヤルする：☞ 36 ページ手順 3

終了する　：（メニュー）を押す

お知らせ

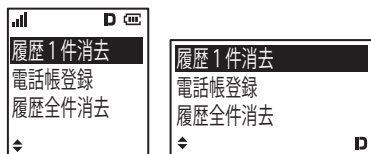
通話キャッチ を押す、または受話器を取った状態（ツーという音が鳴っている状態）で、着信履歴から番号を選んで を押すと、番号がダイヤルされます。

途中で閲覧を終えるときは を押してください。

子機の場合、切 は通話が終了してしまうので、押さないでください。

電話帳に登録する

1 手順 2 で番号を選び、を押す

履歴 1 件消去
電話帳登録
履歴全件消去

サブメニューが表示されます。

2 で「電話帳登録」を選び、を押す

3 55 ページの手順 3 からの操作で登録する

かかってきた電話の番号を見る／使う（着信履歴）（つづき）

選んだ相手だけを消す

1 前ページ「着信履歴を確認する」手順 1 または 2 で番号を選び、(決定) を押す

2 「履歴1件消去」が選択されているので、(決定) を押す

3 (上下) で「はい」を選び、(決定) を押す

4 終了するには (切)（メニュー）を押す
待受画面に戻ります。

着信メモリーをすべて消す

1 前ページ「着信履歴を確認する」手順 1 または 2 で (決定) を押す

2 (上下) で「履歴全件消去」を選び、(決定) を押す

3 (上下) で「はい」を選び、(決定) を押す

4 終了するには (切)（メニュー）を押す
待受画面に戻ります。

お知らせ

- 着信した日付・時刻は、本機に設定されている時刻によって記憶されます。
- 「指定番号拒否」「非通知着信」「公衆電話着信」「表示圏外着信」の場合も着信履歴に残ります。「外線着信」の場合は着信履歴に残りません。

相手によって着信音を変える（着信鳴り分け）

相手ごとに異なる着信音設定をあらかじめ電話帳に登録しておくと、電話がかかってきたときに登録した着信音で鳴りますので、かけてきた相手を知ることができます。（☞ 56 ページ）

✎ 本機能は固定回線・携帯電話のどちらでもお使いいただけます。
ただし、固定回線でお使いになる場合はナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です（☞ 66 ページ）。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号を表示しますが、着信鳴り分けははたらきません。
- 着信音の種類は☞26 ページをご覧ください。
- 着信鳴り分けの登録をしていない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音（☞26 ページ）で着信をお知らせします。

特定の電話を受けないようにする（指定番号拒否）

特定の電話番号を登録（最大 30 件まで）することで、いやな相手からの電話を受けないようにできます。（かけてきた相手には通話料金がかかります。）

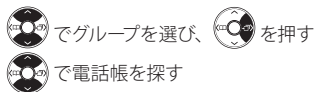
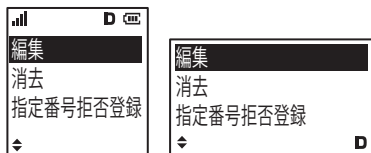
- 本機能は固定回線・携帯電話のどちらでもお使いいただけます。ただし、固定回線でお使いになる場合はナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です（☞ 66 ページ）。
- ナンバー・ディスプレイ設定が「オン」である必要があります（初期設定は「オン」）。（☞ 67 ページ）
- 携帯電話でお使いになる場合、お使いの携帯電話によっては本機能の動作が異なる場合があります。

電話帳から登録する

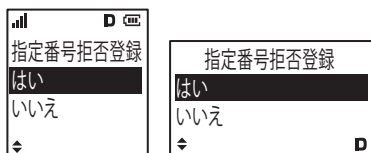
1 を押して電話帳から登録する電話番号を選び、を押す

電話帳を選ぶには…

 でグループを選び、を押す

 で電話帳を探す

サブメニューが表示されます。

2 で「指定番号拒否登録」を選び、を押す

確認画面が表示されます。

3 で「はい」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、登録されます。

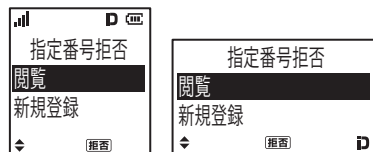
4 終了するには

（ ）を押す

待受画面に戻ります。

電話番号を直接入力して登録する

1 （メニュー）を押し、で「着信拒否設定」を選び、を押す

2 「指定番号拒否」が選択されているので、を押す

サブメニューが表示されます。

3 で「新規登録」を選び、を押す

登録画面が表示されます。

4 55 ページの手順 3 からの操作で名前・よみがな・電話番号を登録する

5 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

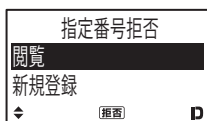
ナンバー・ディスプレイ

▌特定の電話を受けないようにする
（指定番号拒否）（つづき）

着信拒否リストを閲覧する

1 （メニュー）を押し、で「着信拒否設定」を選び、を押す

2 「指定番号拒否」が選択されているので、

を押す

サブメニューが表示されます。

3 「閲覧」が選択されているので、を押す

番号が表示されます。

でスクロール表示します。

閲覧を終了する

4 終了するには

子機の場合：を押す

親機の場合：を押す

待受画面に戻ります。

着信拒否した相手がかけてきたとき

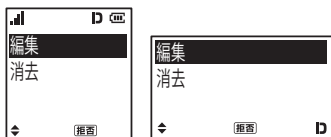
着信音は鳴りません。

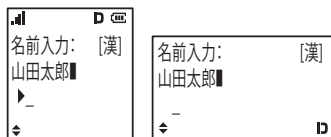
固定電話の場合は相手に次のメッセージを１回流したあと電話が切れます。

「申し訳ありませんが、こちらの都合により、電話をおつなぎすることができません」

閲覧中の登録番号を編集（修正）する

4 を押す

サブメニューが表示されます。

5 「編集」が選択されているので、を押す

登録 / 変更画面が表示されます。

6 55 ページの手順 3 からの操作で名前・よみがな・電話番号を編集する

7 編集が終わったら、を押す

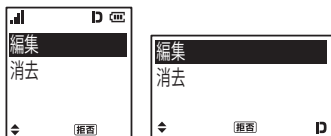
「ピー」と音が鳴り、変更内容が登録されます。

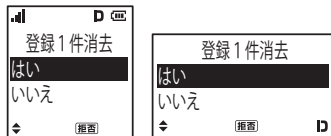
8 終了するには（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

閲覧中の登録番号を消去する

4 を押す

サブメニューが表示されます。

5 で「消去」を選び、を押す

確認画面が表示されます。

6 で「はい」を選び、を押す

7 終了するには（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 指定した番号の相手がかけてくると、相手にメッセージを流しているときに子機のディスプレイに「指定番号拒否」と表示されます。
- 指定番号拒否を設定した場合でも、着信履歴に記憶されます。
- キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号を表示しますが 着信拒否ははたらきません。
- 指定番号拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否がどれか 1 つ以上有効なとき、待受中のディスプレイには 拒否 アイコンが表示されます。

用件10件
着信 5件
10月 10日 10:10
拒否

ナンバー・ディスプレイ

非通知の電話を受けないようにする（非通知着信拒否）

設定により、相手が非通知でかけてきた電話を受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります。）

- 固定回線でのみお使いいただける機能です。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。（☞ 66 ページ）
- ナンバー•ディスプレイ設定が「オン」である必要があります（初期設定は「オン」）。（☞ 67 ページ）
- お買い上げ時設定 :「オフ」（非通知の電話を受ける）

設定する／解除する

1 （メニュー）を押し、で「着信拒否設定」を選び、を押す

2 で「非通知着信拒否」を選び、を押す

サブメニューが表示されます。

3 でいずれかを選び、を押す

オン	非通知の電話を受けない
オフ	非通知の電話を受ける

「ピー」と音が鳴り、設定が登録されます。

4 終了するには（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

相手が非通知でかけてきたとき

設定が「オン」のとき、次の機能がはたらきます。

- 着信音は鳴りません。
- 相手に次のメッセージを1回流したあと電話が切れます。

「おそれ入りますが、電話番号の前に「186」をつけてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直しください。」

お知らせ

- 設定が「オン」のとき
  - ・相手が非通知でかけてくると、相手にメッセージを流しているときに子機のディスプレイに「非通知拒否」と表示されます。
  - ・非通知着信拒否を設定した場合でも、着信履歴に記憶されます。
  - ・キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってくると「非通知拒否」と表示しますが、着信拒否ははたらきません。
- 指定番号拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否がどれか１つ以上有効なとき、待受中のディスプレイには 拒否 アイコンが表示されます。

公衆電話を受けないようにする （公衆電話着信拒否）

設定により、相手が公衆電話でかけてきた電話を受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります。）

✐ 固定回線でのみお使いいただける機能です。
✐ ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。（☞ 66 ページ）
✐ ナンバー・ディスプレイ設定が「オン」である必要があります（初期設定は「オン」）。（☞ 67 ページ）
✐ お買い上げ時設定 :「オフ」（公衆電話からの電話を受ける）

設定する／解除する

1
（メニュー）を押し、で「着信拒否設定」を選び、を押す

2 で「公衆電話着信拒否」を選び、を押す

サブメニューが表示されます。

3 でいずれかを選び、
を押す

オン	公衆電話からの電話を受けない
オフ	公衆電話からの電話を受ける

「ピー」と音が鳴り、設定が登録されます。

4 終了するには
（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

相手が公衆電話でかけてきたとき

設定が「オン」のとき、次の機能がはたらきます。

- 着信音は鳴りません。
- 相手に次のメッセージを1回流したあと電話が切れます。

「申し訳ありませんが、こちらの都合により、電話をおつなぎすることができません。」

お知らせ

- 設定が「オン」のとき
  - ・相手が公衆電話でかけてくると、相手にメッセージを流しているときに子機のディスプレイに「公衆電話拒否」と表示されます。
  - ・公衆電話着信拒否を設定した場合でも、着信履歴に記憶されます。
  - ・キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってくると「公衆電話拒否」と表示しますが、着信拒否ははたらきません。
- 指定番号拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否がどれか1つ以上有効なとき、待受中のディスプレイには 拒否 アイコンが表示されます。

表示圏外の電話を受けないようにする（表示圏外着信拒否）

設定により、相手が表示圏外（海外など番号を通知できない電話）からかけてきた電話を受けないようにできます。（かけてきた相手には通話料金がかかります。）

- 固定回線でのみお使いいただける機能です。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。（☞ 66 ページ）
- ナンバー・ディスプレイ設定が「オン」である必要があります（初期設定は「オン」）。（☞ 67 ページ）
- お買い上げ時設定：「許可する」（表示圏外からの電話を受ける）

設定する／解除する

1 （メニュー）を押し、で「着信拒否設定」を選び、を押す

2 で「表示圏外着信拒否」を選び、を押す

サブメニューが表示されます。

3 でいずれかを選び、を押す

オン	表示圏外からの電話を受けない
オフ	表示圏外からの電話を受ける

「ピー」と音が鳴り、設定が登録されます。

4 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

相手が表示圏外からかけてきたとき

設定が「オン」のとき、次の機能がはたらきます。

- 着信音は鳴りません。
- 相手に次のメッセージを１回流したあと電話が切れます。

「申し訳ありませんが、こちらの都合により、電話をおつなぎすることができません。」

お知らせ

- 設定が「オン」のとき
  - 相手が表示圏外からかけてくると、相手にメッセージを流しているときに子機のディスプレイに「表示圏外拒否」と表示されます。
  - 表示圏外を着信拒否に設定した場合でも、着信履歴に記憶されます。
  - キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってくると「表示圏外拒否」と表示しますが、着信拒否ははたらきません。
- 指定番号拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否がどれか１つ以上有効なとき、待受中のディスプレイには 拒否 アイコンが表示されます。

ナンバー・ディスプレイ

留守番電話をセットする

お出かけ前に次の操作で留守番電話をセットしておくと、相手の用件を自動的に録音できます。

- 携帯電話にかかってきた電話に対しては、本機能をお使いいただくことはできません。
- あなたの声で録音した自作応答メッセージを使うこともできます。(☞80ページ)
- 再生時に、録音した日付・時刻を聞くには、事前に日付・時刻の設定(☞23ページ)が必要です。

親機で留守番電話をセットする

お出かけ前に［留守/通話録音］を押す

親機の件数表示が点灯し応答メッセージが流れ、留守番電話がセットされます。

- 留守番電話をセットしても、録音されている用件は消えません。
- 応答メッセージの再生中に［決定］を押すと、メッセージを途中で止めることができます。

■留守番電話機能を解除する

もう一度［留守/通話録音］を押す

親機の件数表示が消灯し、留守番電話が解除されます。

用件録音時間と件数について

- 1件当たりの録音可能時間は1分／4分／応答専用(0分)の中から選べます。
  - お買い上げ時は「1分」に設定されています。(☞84ページ「用件録音時間を変える」)
- 合計約12分、件数では最大59件まで録音できます。
  - 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
- メモリーがいっぱいになると、応答メッセージは応答専用の固定応答メッセージに切り替わります。(☞84ページ)
- 無音状態が続いたときや、声が小さいときは、用件を録音できない場合があります。

子機で留守番電話をセットする

1 ［決定］を押し、［上下］で「留守設定」を選び、［決定］を押す

2 ［上下］で「留守設定」を選び、［決定］を押す

3 ［上下］で「オン」を選び、［決定］を押す

「ピー」と音が鳴り、留守番電話がセットされます。

4 終了するには［切］を押す

待受画面に戻ります。

■留守番電話機能を解除する

手順3で「オフ」を選ぶ。

■留守電応答着信音の回数を変える

- 「留守電応答着信音の回数を設定する」(☞83ページ)

■留守番電話の応答中に電話に出る

子機の場合：［通話/キャッチ］を押す

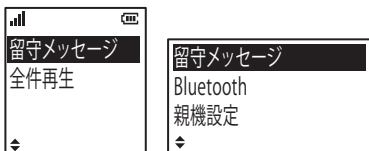
親機の場合：受話器を取る、または［固定電話］を押す

用件録音は中止されますが、それまでの録音が1件分として残ります。

用件を聞く

録音メッセージは親機・子機のどちらからでも聞くことができます。

選んで再生する

1 [再生/ミュート]（[メニュー]）を押す

2 「留守メッセージ」が選ばれているので、[決定]を押す

録音されているメッセージの着信履歴が新しい順に表示されます。

- 新規用件の場合、日時の右横に＊が表示されます。
- 着信履歴を表示中に以下のキーを押すと、相手に電話をかけることができます。

固定電話でかける場合：
（
）

携帯電話でかける場合：[携帯電話]（[携帯電話]）

3 [上下]で再生したいメッセージを選び、[決定]を押すと再生がはじまる

- 子機の場合、[スピーカー]を押すたびに音声がスピーカーから、受話口からと交互に切り替わります。

■再生中の用件を消去するとき

[4]（[消去/取消 キャッチ]）を押す

4 終了するには

[切]（[メニュー]）を押す

全件再生する（子機での操作）

1 [再生/ミュート]を押す

「子機リモート」状態になります。

2 [上下]で「全件再生」を選び、[決定]を押すと再生がはじまる

新規用件がある場合：新規用件のみ、古い順に再生されます。

新規用件がない場合：再生済みの用件が、古い順に再生されます。

- [スピーカー]を押すたびに音声がスピーカーから、受話口からと交互に切り替わります。

3 再生が終わると、「子機リモート」状態に戻る

もう一度再生するには[2]を押します。

- 子機を充電台に戻すと「子機リモート」を中止して待受状態になります。
- 再生終了後、何も操作をしないと「ピッ、ピッ、ピッ…」とアラーム音が鳴ります。30秒後に自動的に「子機リモート」を終了し、待受状態に戻ります。

4 終了するには

[切]を押す

待受画面に戻ります。

用件を聞く（つづき）

全件再生する（親機での操作）

留守/通話録音 を押す

留守番電話機能が解除され、新しく録音された件数がアナウンスされたあと、用件・日付・時刻が続けてスピーカーから再生されます。

■ すべての用件をもう一度再生する、または留守番電話機能を解除せずに再生するには

待受中に ● を押す

■ すべての用件を消去するには

新規の用件をすべて再生したあと、待受中に 消去/取消 キャッチ を2秒以上押し続ける

「消去しました」とアナウンスされます。
新規の用件が残っている場合、「用件を再生してください」とアナウンスされ、用件は削除されません。

操作一覧（「全件再生」の場合のみ）

再生中の用件の先頭に戻る	1 （◀）を1回押す
前の用件に戻る	1 （◀）を2回押す 前の用件の先頭から再生されます。 さらに 1 （◀）を押すたびに、その前の用件に移ります。 （例：3回→3つ前に戻る）
次の用件に進む	3 （▶）を1回押す 次の用件の先頭から再生されます。 さらに 3 （▶）を押すたびに、その次の用件に移ります。 （例：3回→3つ先に進む）
再生を中止する	5 （●）を押す
再生を開始する	2 （●）を押す
再生中の用件を消す（1件ずつ消去）	4 （消去/取消 キャッチ）を押す

スピーカー音量の調整

スピーカー音量は10段階に調整できます。

用件を再生中に ▲▼ を押す

▲：押すごとに音が大きくなる

▼：押すごとに音が小さくなる

自作応答メッセージを使う

あなたの声で録音したオリジナルの応答メッセージを流すこともできます。

応答メッセージを録音する

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「応答メッセージ録音」を選び、を押す

3 を押し、音声ガイドが終わったら、送話口（または親機マイク）に向かってメッセージを録音する（30 秒以内）

例：「ただいま外出しております。
　　メッセージをお願いします。」

終わったら、を押す

自動的に録音したメッセージに切り替わります。録音されたメッセージが子機のスピーカーから1回再生されます。

4 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

■自作応答メッセージを変更する

再度手順 1 ～ 3 で録音するとメッセージが上書きされます。

固定応答メッセージに切り替える

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「応答メッセージ選択」を選び、を押す

現在設定されている応答メッセージがスピーカーから再生されます。

3 を押す

押すたびに固定応答メッセージと録音したメッセージが交互に切り替わります。

4 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

固定応答メッセージについて

こんなとき	内　容
通常	「ただいま留守にしております。発信音のあとにお話しください。」
応答専用にしているとき	「ただいま留守にしております。またお電話ください。」

お知らせ

あなたの声で応答メッセージを録音した場合でも、用件録音ができない次のような場合には、応答専用のときの固定応答メッセージに切り替わります。
- メモリーがいっぱいのとき
- 用件が 59 件録音されているとき

自作応答メッセージを消去する

1 前記手順 3 で、録音したメッセージを選び、再生中に保留/消去 内線（消去/取消 キャッチ）を押す

自作応答メッセージが消去され、固定応答メッセージに自動的に切り替わります。

2 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

お出かけ前に／暗証番号を登録する

外出前にあらかじめ暗証番号を登録しておくと、外出先から留守番電話の用件を聞くことができます。

1 留守番電話の暗証番号を登録する

2 お出かけ前に、留守番電話をセットする（☞77 ページ）

3 外出先から操作する（☞ 82 ページ）

お知らせ

外出前に、留守電応答着信音の回数を「トールセーバー」に設定しておくと（☞ 83 ページ）、新しい用件の有無を確認するのに便利です。

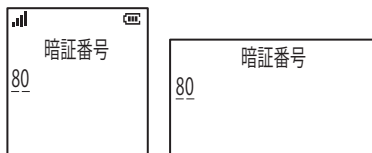
留守番電話の暗証番号を登録する

暗証番号は数字 2 桁です。

お買い上げ時設定 :「８０」

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 「暗証番号」が選択されているので、を押す

現在の暗証番号が表示されます。

暗証番号
80

3 0～9（0～9）で2 桁の番号（01 ～ 99）を入力する

や（や）は使えません。

■まちがえたとき

もう一度入力すると上書きされます。

4 を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

暗証番号はお忘れにならないようご注意ください。

5 終了するには

（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

▌外出先から留守番電話を操作する

トーン信号（ピポパ音）が出せる電話機を使って、外出先から留守番電話を操作できます。

✐ あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（☞ 81 ページ）

1 外から電話をかける

2 応答メッセージが聞こえている間に 0 ＋ 暗証番号（2 桁）を押す

日時、用件件数、音声ガイドが流れます。

用件があるとき

「用件、○件」

用件がないとき

「用件はありません」

とアナウンスされます。

終わるには、電話を切ります。

✐ 間違った暗証番号を 3 回入力すると、電話は自動的に切れます。暗証番号を再度確認してください。

3 用件を聞くには 0 ＋ 2 を押す

新しい用件をすべて再生するまで、古い用件は再生されません。用件を聞きなおすには、一度、新しい用件をすべて再生してください。

再生中にできること	操作するキー
再生中の用件の先頭に戻る	0＋1 *
次の用件に進む	0＋3 **
再生を停止する	0＋5
再生中の用件を消す	0＋4

* 0 ＋ 1 を繰り返すと、その前の用件に戻ります。

** 0 ＋ 3 を繰り返すと、その次の用件に進みます。

再生されていないときにできること	操作するキー
留守番電話を解除する	0＋9
留守番電話をセットする	0＋6
再生を開始する（以前電話をかけて聞いた用件も再生される）	0＋2
音声ガイドを聞く	1＋0

✐ 用件が再生されていないときに 15 秒何も操作をしないと、電話が自動的に切れます。

■押しまちがえたとき

正しい番号を押し直してください。

4 終わるには、電話を切る

お知らせ

留守番電話がセットされていなくても、電話をかけて、20 回着信音のあとに、手順 2 の操作で留守番電話に接続できます。

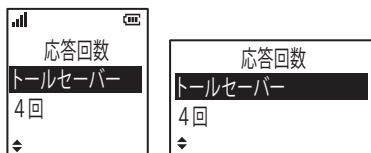
留守電応答着信音の回数を設定する

外から電話があったとき、留守番電話の応答に切り替わるまでの着信音回数を設定できます。

お買い上げ時設定 :「トールセーバー」

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「応答回数」を選び、を押す

サブメニューが表示されます。

3 で選びたい項目に合わせ、を押す

「トールセーバー」/「4 回」/「6 回」/「8 回」に設定できます。

トールセーバー	右記参照
4 回	設定した着信音の回数で留守番電話が応答します。
6 回	
8 回	

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには （メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

外出先からの電話代節約のために（トールセーバー）

外から電話して、新しい用件の有無を確かめることができる機能です。
「留守電応答着信音の回数」の設定を「トールセーバー」にしてください。
新しい用件がない場合、留守応答着信音の回数が多くなるので、留守番電話が応答する前に、新しい用件がないことがわかります。

■外から電話をかけると…

新しい用件がある場合

着信音 4 回で留守番電話が応答します。

引き続き、82 ページの操作にしたがって新しい用件を聞くことができます。

新しい用件がない場合

着信音 6 回で留守番電話が応答します。

（5 回目の着信音が終わったところで電話を切ると通話料金はかかりません。）

用件録音時間を変える

留守番電話の相手メッセージ１件あたりの録音時間を選べます。

お買い上げ時設定 :「1 分」

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「録音時間」を選び、を押す

3 で選びたい項目に合わせ、を押す

1 分	最大約 1 分まで
4 分	最大約 4 分まで
応答専用	右記「応答専用」についてを参照

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

「応答専用」について

電話に出られないことだけを相手に知らせて、用件を録音したくないときに選びます。

自作応答メッセージが録音されていないとき

次の固定応答メッセージが流れます。

「ただいま留守にしております。またお電話ください。」

自作応答メッセージが録音されているとき

次のようなオリジナル応答メッセージを前もって録音しておくと、録音したメッセージが流れます。（☞ 80 ページ）

例「ただいま外出しております。おそれ入りますが再度おかけ直しください。」

固定応答メッセージに切り換えることもできます。（☞ 80 ページ）

新規用件通知音の設定

新たにメッセージが録音された場合に通知音でお知らせする機能です。
設定を「オン」にすると、新しい用件があるときに、親機から15秒おきに「ピッ」という音が聞こえます。

お買い上げ時設定 :「オフ」

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「新規用件通知音」を選び、を押す

3 で「オン」または「オフ」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

通知音が聞こえているとき、またはその間に親機のいずれかのキーを押すと、通知音を消すことができます。この場合、再度新しい用件が録音されると、通知音は再び聞こえるようになります。

留守モニター

親機で聞く

設定が「オン」のとき、留守番電話応答中に相手の用件を親機のスピーカーで聞くことができます。

お買い上げ時の設定は「オン」になっています。

1 （メニュー）を押し、で「留守設定」を選び、を押す

2 で「留守モニター」を選び、を押す

3 で「オン」または「オフ」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには
切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

子機で聞く

次の操作で、留守番電話応答中の相手の用件を、子機から聞くこともできます。

1 留守応答中に子機の 再生/ミュート を押す

子機のスピーカーから聞こえます。

親機の設定が「オフ」のときも、操作をすることで子機から聞くことができます。

2 聞くのをやめるには、
切 を押す

便利な機能の設定

クイック通話の設定（子機のみ）

発着信時、充電台から子機を取り上げるだけで、［通話キャッチ］を押さなくても通話ができるようにする機能です。

✐ お買い上げ時設定 :「オフ」

✐ クイック通話が「オン」でも、固定回線と携帯電話に同時に着信しているときは機能が一時的に無効となります。

1 ［決定］を押し、［上下］で「子機設定」を選び、［決定］を押す

2 ［上下］で「クイック通話」を選び、［決定］を押す

3 ［上下］で「オン」または「オフ」を選び、［決定］を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには［切］を押す

待受画面に戻ります。

ご注意！

ナンバー・ディスプレイのご利用開始後にナンバーディスプレイの設定を「オフ」にすると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。
このとき電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。

エニーキー応答の設定（子機のみ）

着信時、［0］～［9］、［＊］、［#］のどのキーを押しても電話が受けられるようにする機能です。

✐ お買い上げ時設定 :「オフ」

✐ エニーキー応答が「オン」でも、固定回線と携帯電話に同時に着信しているときは機能が一時的に無効となります。

1 ［決定］を押し、［上下］で「子機設定」を選び、［決定］を押す

2 ［上下］で「エニーキー応答」を選び、［決定］を押す

3 ［上下］で「オン」または「オフ」を選び、［決定］を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには［切］を押す

待受画面に戻ります。

子機に名前を付ける（子機のみ）

子機を 2 台以上お持ち場合は、それぞれの子機に名前を登録しておくと便利です。

1 を押し、で「子機設定」を選び、を押す

2 で「名前設定」を選び、を押す

3 名前を入力する

全角で 5 文字、半角で 10 文字まで登録できます。

✎ 表示内容を消去するには

一文字ずつ消去する	保留/消去 内線 を押す
全消去する	保留/消去 内線 を長押しする

✎ 文字入力のしかたについて詳しくは「文字入力のしかた」（☞ 62 ページ～）をご覧ください。

✎ あらかじめついている #1、#2 などは変更できません。

決定するには を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには 切 を押す

待受画面に戻ります。

キータッチ音の設定

キー操作音のあり／なしを設定できます。

✎ お買い上げ時設定 :「オン」

✎ 子機・親機それぞれ個別に設定できます。

1 （メニュー）を押し、で「子機（親機）設定」を選び、を押す

2 で「キータッチ音」を選び、を押す

3 で「オン」または「オフ」を選び、を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには 切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

便利な機能の設定

液晶コントラスト

子機・親機の液晶ディスプレイの明るさを、お好みに合わせて 10 段階から選ぶことができます。

お買い上げ時設定 :「 5」

子機・親機それぞれ個別に設定できます。

1 （メニュー）を押し、で「子機（親機）設定」を選び、を押す

2 で「液晶コントラスト」を選び、を押す

3 でお好みの明るさを選ぶ

設定を選ぶたびにその明るさで表示されます。

決定するには を押す

「ピー」と音が鳴り、設定が完了します。

4 終了するには 切（メニュー）を押す

待受画面に戻ります。

デモモード

店頭表示用のデモ画面を表示します。

お買い上げ時設定 :「オフ」

1 （メニュー）を押し、で「子機（親機）設定」を選び、を押す

2 で「デモモード」を選び、を押す

3 で「オン」を選び、を押す

親機 : デモモードが開始します。

子機 : 子機を充電台にのせる、または子機のいずれかのキーを押すと、デモモードが開始します。

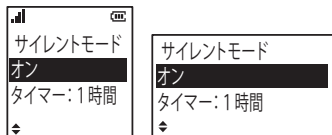
4 終了するには を押し、で「オフ」を選び、を押す

待受画面に戻ります。

サイレントモード

就寝中や外出中など、着信時に着信音を鳴らしたくない場合に、親機およびすべての子機の着信音を鳴らさないようにすることができます。
また、サイレントモード中は留守設定も「オン」になります。

1 子機の場合：［#文字切替サイレント］を長く押す（1秒以上）
親機の場合：［サイレント］を押す

「ピッ」と音が鳴り、サブメニューが表示されます。

サブメニューは何も操作しない状態が5秒間続くと自動的に終了します。この場合、選択中の設定でサイレントモードが「オン」になります。

2 ［上下ボタン］で「オン」またはタイマー（1～9時間のうちいずれか）を選び、［決定ボタン］を押す

タイマーの場合は数字ボタン（1～9）でも選べます。

「ピー」と音が鳴り、待受画面が表示されます。
設定が「オン」のときは以下のように画面に表示されます。

子機 #1
サイレントモード
10月10日 10:10

用件:10
サイレントモード
10月10日 10:10

タイマー（1～9時間）の場合、設定した時間が過ぎると、自動的に通常着信時の音量設定に戻ります。

■設定を解除するとき

子機の場合：［#文字切替サイレント］を長く押す（1秒以上）
親機の場合：［サイレント］を押す

「ピー」と音が鳴り、待受画面から「サイレントモード」の表示が消えます。

サイレントモードを解除すると、留守設定はサイレントモード設定前の状態に戻ります。また、サイレントモード中に留守設定を解除すると、サイレントモードも解除されます。

子機を増やす（増設）

別売の子機をお買い上げいただくと、子機を増やすことができます。

- 親機には最大 12 台の子機が登録できます。
- 増やせる子機の機種は追加になることがあります。
- 子機を増やすには、お使いの親機への登録（増設）が必要です。増設子機の取扱説明書も、あわせてよくお読みください。
- 登録した子機の使用をやめるときは、次ページの「子機の登録を解除する（減設）」を行ってください。
- 子機の増設・減設をするときは、子機を親機の近くに持ってきてください。

ご注意！

- 登録をする前に、必ず子機を十分に充電してください。（満充電のめやす：15 ～ 20 時間）
- 登録の際は親機から電話機コードをいったんはずし、登録完了後に再接続してください。
- 子機の登録は待機中に行ってください。

1 親機の メニュー を押し、 で「子機登録」を選び、 を押す

2 登録する子機の #文字切替サイレント を長く（2 秒以上）押す

3 登録が完了するとメッセージが表示される

「子機登録できませんでした」と表示される場合は、再度手順 2 からやり直してください。

4 約 2 秒後に子機は待機状態になり、子機（登録）番号が表示される

子機 # 2

10月10日 10:10

5 新しく登録した子機の設定をする

「着信音設定」の項などを参照して、各種設定を行ってください。

お知らせ

子機の番号は自動で順番に登録（#1 ～ #12）されます。

便利な機能の設定

子機の登録を解除する（減設）

1 はじめに減設する子機の番号と名前（☞ 87 ページ）を確認する

（☞ 87 ページ）

2 [切] を押しながら [# 文字切替 サイレント] を押し続け、5 秒以上待つ

3 「子機登録消去」が選択されているので、[決定] を押す

減設可能な子機番号が表示されます。

4 [選択] で、手順 1 で確認した子機番号を選び、[決定] を押す

確認画面が表示されます。

5 [選択] で「はい」を選び、[決定] を押す

親機がないとき

破損、または譲渡などで子機のみのときは、次の操作を行ってから、子機を新しい親機へ登録してください。

1 [切] を押しながら [# 文字切替 サイレント] を押し続け、5 秒以上待つ

2 [選択] で「親機変更」を選び、[決定] を押す

3 [選択] で「はい」を選び、[決定] を押す

確認音が鳴り、
再登録が可能になります。

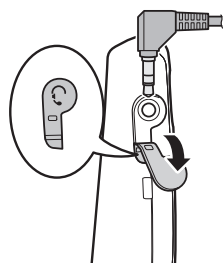
お願い

登録を解除（減設）した子機は、バッテリーをはずしてください。

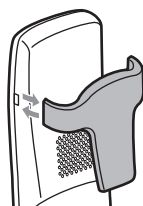
便利な機能の設定

ヘッドセット（オプション）

専用ヘッドセット（品番：HS-915）は別売にてご購入いただけます。
ヘッドセットプラグを子機のヘッドセット端子に差し込んでください。ハンズフリー通話ができます。

お願い
必ず指定の専用ヘッドセットをお使いください。

ベルトクリップ

取り付けるとき
図のようにクリップ取り付け穴に押し込み、取り付けてください。

取りはずすとき
両サイドの取り付け穴からゆっくりと取りはずしてください。

おもな仕様

親　機		
電　源		AC アダプター (品番：AD-828) AC100 V　50 Hz/60 Hz、DC 9 V　350 mA
消費電力	待機時	約 1.7 W
	最大時	約 2.6 W
外形寸法（高さ×幅×奥行）		約 79 × 171 × 197 mm
質　量		約 620 g
使用環境	温　度	5℃～ 35℃
	湿　度	45%～ 85%
ダイヤル方式	ダイヤル回線	DP 信号（10PPS/20PPS）
	プッシュ回線	PB 信号
直流抵抗値		310 Ω※
録音時間		応答メッセージ・用件などを含め、合計約 12 分以内

子　機		
電　源		専用ニッケル水素電池（品番：BT-862） DC 2.4 V、300 mAh
外形寸法（高さ×幅×奥行）		約 166 × 47 × 24 mm
質　量		約 105 g（電池パック含む）
使用環境	温　度	5℃～ 35℃
	湿　度	45%～ 85%
無線通信方式		1.9 GHz DECT 方式
充電時間		約 15 ～20 時間
使用時間	連続通話時間	約 6.5 時間
	待受時間	約 156 時間

充電器		
電　源		AC アダプター (品番：AD-826) AC100 V　50 Hz/60 Hz、DC 9 V　210 mA
消費電力	待機時	約 1.2 W
	最大時	約 1.6 W
外形寸法（高さ×幅×奥行）		約 45 × 71 × 78 mm
質　量		約 39 g

※　直流抵抗値が 300 Ω以上あるため、電話をかけることができない場合は販売店にご相談ください。

- 仕様・外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機の画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。
- 本機の「日本語変換」は、オムロンソフトウェア株式会社のミニ Wnn を使用しています。

機能一覧

メニュー設定のしかた

1. (メニュー) を押す
2. でメニューを選び、を押す
3. サブメニューがある場合はで選び、を押す
4. で「オン」または「オフ」を選ぶ
5. を押す
6. 終了するには 切 (メニュー) を押す

使いかたに合わせて下記の機能を変更・登録できます。

「Bluetooth」メニュー			
サブメニュー	変更・登録できる内容	お買い上げ時設定	参照ページ
携帯電話選択	設定あるいは発信を行う、登録（ペアリング）済みの携帯電話を選びます。	―	52
接続（または）発信 *	「接続」…登録（ペアリング）済みの携帯電話で、本機との接続が確立していないとき、再接続するのに使います。 「発信」…本機と接続している登録（ペアリング）済みの携帯電話で、電話をかけるのに使います。	―	52
個別着信 *	携帯電話の着信を受ける・受けないを子機ごとに設定します。	オフ(個別設定なし)	53
携帯電話登録	本機に携帯電話を登録（ペアリング）します。	―	25
登録解除 *	本機に登録した携帯電話を登録解除します。	―	53

* 携帯電話選択後に表示され、設定が可能となります。

「子機設定」メニュー（子機のみ）				
サブメニュー	変更・登録できる内容		お買い上げ時設定	参照ページ
着信音	4 種のベル音または 6 種のメロディーから着信音を選びます。（ホーム・登録されている携帯電話、それぞれ個別に設定可能です。）		固定回線：パターン #1 携帯回線：パターン #2	26
クイック通話	オン	充電台から子機を取るだけで電話をかける（オフフック状態になる）・受けることができます。	オフ	86
	オフ	電話をかける・受けるには、通話キャッチ または 携帯電話 を押します。		
エニーキー応答	オン	0わ ～ 9らwxyz、＊゛゜トーン、#文字切替サイレント のいずれかのキーを押して電話を受けられます。	オフ	86
	オフ	電話を受けるには、通話キャッチ または 携帯電話 を押します。		
名前設定	子機の名前を設定します。		子機 #1	87
キータッチ音	キーを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選びます。		オン	87
液晶コントラスト	液晶ディスプレイの明るさを 10 段階から選びます。		5/10	88
デモモード	店頭表示用のデモ画面を表示します。		オフ	88

機能一覧（つづき）

「親機設定」メニュー（親機のみ）			
サブメニュー	変更・登録できる内容	お買い上げ時設定	参照ページ
着信音	4 種のベル音または 6 種のメロディーから着信音を選びます。 （ホーム・登録されている携帯電話、それぞれ個別に設定可能です。）	固定回線：パターン #1 携帯回線：パターン #2	26
キータッチ音	キーを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選びます。	オン	87
液晶コントラスト	液晶ディスプレイの明るさを 10 段階から選びます。	5/10	88
デモモード	店頭表示用のデモ画面を表示します。	オフ	88

「留守設定」メニュー			
サブメニュー	変更・登録できる内容	お買い上げ時設定	参照ページ
暗証番号	外出先から留守番電話を操作するための暗証番号を登録します。	80	81
応答回数	留守電応答する着信音回数を設定します。	トール セーバー	83
録音時間	用件の録音時間を選択します。	1 分	84
新規用件通知音	新規用件通知音のオン / オフを選択します。	オフ	85
留守モニター	応答中に相手の声を聞くことができます。	オン	85
留守設定	留守番電話の設定をします。	オン	77
応答メッセージ録音	自作応答メッセージを録音することができます。	－	80
応答メッセージ選択	応答メッセージを確認・選択することができます。	－	80

「日付時刻設定」メニュー			
サブメニュー	変更・登録できる内容	お買い上げ時設定	参照ページ
日付時刻設定	現在の日付・時刻を設定します。	－	23

「基本設定」メニュー			
サブメニュー	変更・登録できる内容	お買い上げ時設定	参照ページ
回線種別	電話の回線種別を選びます。	自動選択	24
TA/ スプリッタ	ADSL や ISDN 回線に接続する際、相手の声が聞きづらい場合に設定します。	オフ	19
併設電話検出	「オン」のとき、併設電話が電話に出たことを検出し、留守番電話応答を停止します。	オン	19

機能一覧（つづき）

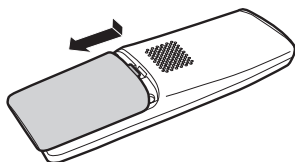
「ナンバー・ディスプレイ」メニュー			
サブメニュー	**変更・登録できる内容**	**お買い上げ時設定**	**参照ページ**
ナンバー ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき「オン」を選び、利用しないときは「オフ」を選びます。	オン	67
キャッチホン ディスプレイ *	キャッチホン・ディスプレイサービスを使うとき「オン」を選び、利用しないときは「オフ」を選びます。	オフ	67

* ナンバー・ディスプレイ機能を「オン」に設定すると表示され、設定が可能となります。

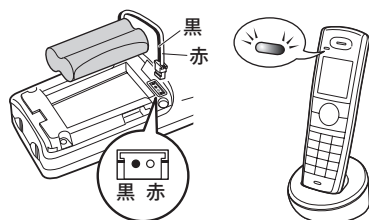
「着信拒否設定」メニュー			
サブメニュー	**変更・登録できる内容**	**お買い上げ時設定**	**参照ページ**
指定番号拒否	登録した番号の電話を受けないようにできます。	ー	71
非通知着信拒否	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、非通知の電話を受けるか、受けないかを選びます。	オフ	74
公衆電話着信拒否	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、公衆電話を受けるか、受けないかを選びます。	オフ	75
表示圏外着信拒否	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、表示圏外の電話を受けるか、受けないかを選びます。	オフ	76

子機のバッテリー交換について

バッテリーは消耗品です。充電しても通話数分後に電池充電メッセージ「充電してください」が点滅表示したら、新しいバッテリーと交換してください。

1 バッテリーカバーを開ける

2 古いバッテリーをはずす

3 新しいバッテリーを入れて充電する

バッテリー端子は奥まで（カチッと音がするまで）きちんと押し込んでください。

次のような場所では充電しないでください。

- 周囲温度が 5℃以下、または 30℃以上になるところ（周囲温度が高すぎる、または低すぎると、充電されないことがあります。）
- 湿気やほこり、振動の多いところ（充電不良の原因となります。）

お願い

必ず指定のバッテリー（別売品／品番：BT-862、仕様：ニッケル水素電池、DC2.4V、300mAh）をお使いください。ご注文は、< ユニデンダイレクト > お客様センターにお申しつけください。

ご使用後はリサイクルへ

Ni-MH

- 本製品のバッテリーはニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。不要になった電池は廃棄せず充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 不要になったバッテリーを一般のゴミとして捨てないでください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。

一般社団法人 JBRC
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

リサイクル時のお願い

- バッテリーはショートしないように、端子に絶縁テープを貼ってください。火災・感電の原因になります。
- ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- バッテリーを分解しないでください。

お手入れについて

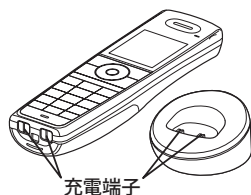
汚れたときは

親　機：AC アダプターを抜いて、柔らかい布で本体を拭いてください。
子　機：バッテリーをはずし、柔らかい布で本体を拭いてください。

※ 汚れがひどいときは、水を含ませて硬く絞った布で拭き取ります。

充電端子はいつもきれいに

子機と充電器の充電端子が汚れると、充電できないことがあります。
汚れたときは、綿棒などで拭き取ってください。

充電端子

お手入れに使用できないもの

ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、
洗剤などは表面の仕上げをいためますので
使用しないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。
(☞ 裏表紙をご覧ください。)

電話機能(全般)

症　状	チェック	処　置
電話が かけられない	・親機の AC アダプターがはずれていませんか? ・子機ディスプレイに「回線未接続」と表示されている場合、電話機コードは、親機および壁面の電話コンセントに確実に差し込まれていますか? ・電話回線の種類は正しく選択されていますか? ・子機のバッテリーの容量が少なくなっていませんか? ・子機のバッテリーのコネクタがはずれていませんか? ・親機から離れすぎていませんか? ・電波干渉の発生しやすいところで使用していませんか? ・他の子機(子機増設時)が使用中ではありませんか?	・確実に差し込んでください。(☞20 ページ) ・確実に差し込んでください。(☞19 ページ) ・ご使用の電話回線を調べ、設定してください。(☞24 ページ) ・充電台に置いて充電してください。(☞22 ページ) ・確実に接続してください。(☞21 ページ) ・親機に近づいてください。 ・雑音源と思われる機器から離して使用することをおすすめします。 ・他の子機(子機増設時)を使用中は使えません。
着信音が 鳴らない	・着信音量が「消音」に設定されていませんか? ・「サイレントモード」に設定されていませんか? ・親機の AC アダプターがはずれていませんか? ・子機のバッテリーの容量が少なくなっていませんか? ・子機のバッテリーのコネクタがはずれていませんか? ・親機から離れすぎていませんか? ・電波干渉の発生しやすい所で使用していませんか?	・消音を解除してください。(☞26 ページ) ・サイレントモードを解除してください。(☞ 89 ページ) ・確実に差し込んでください。(☞20 ページ) ・充電台に置いて充電してください。(☞22 ページ) ・確実に接続してください。(☞21 ページ) ・親機に近づいてください。 ・雑音源と思われる機器から離して使用することをおすすめします。
電話が 受けられない	・ナンバー・ディスプレイサービスをご契約の場合、ナンバー・ディスプレイの設定が「オフ」になっていませんか?	・オンに設定してください。(☞ 67 ページ)
かけてきた相手の電話番号を表示しない	・NTT との契約が済んで、NTT 側の工事が完了していますか? ・ナンバー・ディスプレイの設定が「オフ」になっていませんか?	・NTT 担当窓口へお問い合わせください。(☞ 66 ページ) ・設定を確認してください。(☞ 67 ページ)

故障かな?と思ったら（つづき）

電話機能（全般）（つづき）

症　状	チェック	処　置
雑音が多く、音声が聞きづらい	・テレビ、ラジオ、OA 機器などのそばで使用していませんか?	・雑音源と思われる機器から離して使用することをおすすめします。
子機を充電台に置いても充電できない	・充電器の AC アダプターがはずれていませんか? ・子機を充電台に正しく置いていますか? ・子機のバッテリーのコネクタがはずれていませんか? ・充電端子が汚れていませんか?	・確実に差し込んでください。（☞20 ページ） ・充電台に正しく置いてください。 ・確実に接続してください。（☞21 ページ） ・充電端子の汚れは綿棒などで拭き取ってください。
充電してもすぐに充電メッセージがでる	・バッテリーが古くなっていませんか?	・新しいバッテリー（別売）に交換してください。（☞ 97 ページ）

電話機能（携帯電話）、Bluetooth 関連

症　状	チェック	処　置
Bluetooth 機器を登録できない	・接続する Bluetooth 機器と親機の距離が離れていませんか? ・本機が登録モードになっていますか? ・使用したい Bluetooth 機器がプロファイル：HFP に対応していますか? ・近くに別の Bluetooth 機器がありませんか? ・チェックの項目をすべて試しましたが、登録できません。	・接続する Bluetooth 機器と親機をなるべく近づけてから登録してください。 ・本機を登録モードにしてください。（☞25 ページ） ・HFP に対応している Bluetooth 機器を使用してください。 ・別の Bluetooth 機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。 ・Bluetooth 機器と本機を再起動（電源の入れ直し）してください。 ・本機はすべての Bluetooth 機器と Bluetooth 接続できることを保証するものではありません。
Bluetooth 機器が自動的に再接続しない	・接続する Bluetooth 機器の Bluetooth 接続設定が「オフ」になっていませんか? ・接続する Bluetooth 機器と親機の距離が離れていませんか? ・接続する Bluetooth 機器と親機の間に障害物がありませんか? ・無線 LAN アクセスポイントや、他の 2.4GHz 帯無線機器、電子レンジなどの、電波干渉源が近くにありませんか?	・接続する Bluetooth 機器の Bluetooth 接続設定を「オン」にしてください。詳しくは、ご使用の機器に付属の取扱説明書をご確認ください。 ・接続する Bluetooth 機器と親機を近づけて使用してください。 ・障害物を避ける、あるいは障害物を取り除いてから使用してください。 ・電波干渉源と思われる機器から離して使用してください。

▌故障かな?と思ったら（つづき）

電話機能（携帯電話）、Bluetooth 関連（つづき）

症　状	チェック	処　置
音が途切れる、または音質が悪い	・接続する Bluetooth 機器と親機の距離が離れていませんか? ・接続する Bluetooth 機器と親機の間に障害物がありませんか? ・無線 LAN アクセスポイントや、他の 2.4GHz 帯無線機器、電子レンジなどの、電波干渉源が近くにありませんか?	・接続する Bluetooth 機器と親機を近づけて使用してください。 ・障害物を避ける、あるいは、障害物を取り除いてから、使用してください。 ・電波干渉源と思われる機器から離して使用してください。
通話できない	・他の子機（子機増設時）が使用中ではありませんか? ・接続する Bluetooth 機器と本機の電源が入っていますか? ・Bluetooth 接続ステータスランプが点灯していますか? （Bluetooth 接続されているとき、Bluetooth 接続ステータスランプが点灯します。） ・音量が適切に設定されていますか? ・接続する Bluetooth 機器がプロファイル：HFP に対応していますか? ・接続する Bluetooth 機器の音声出力先が DECT3288（本機）になっていますか?	・他の子機（子機増設時）を使用中は使えません。 ・接続する Bluetooth 機器と本機の電源を入れてください。 ・使用したい Bluetooth 機器で、Bluetooth 接続操作をしてください。（☞ 52 ページ） うまく接続できない場合は、使用したい Bluetooth 機器を本機に再度登録してください。（☞25 ページ） ・本機の音量を上げてください。 ・HFP に対応している Bluetooth 機器を使用し、HFP で Bluetooth 接続をしてください。 ・接続する Bluetooth 機器の音声出力先を設定してください。
不安定な動作をする	・接続する Bluetooth 機器の仕様・設定により、一部の機能について、操作方法や、本機の動作のしかたが異なることがあります。	・ご使用の機器に付属の取扱説明書をご確認ください。 ・接続する Bluetooth 機器の登録情報を削除し、再度ペアリングを行ってください。 ・接続する Bluetooth 機器によっては対応していない機能もあります。

故障かな？と思ったら（つづき）

留守番電話

症　状	チェック	処　置
用件が録音できない	・留守番電話がセットされていますか？ ・録音がいっぱいになっていませんか？ ・応答メッセージが「応答専用」になっていませんか？ ・AC アダプターが正しく接続されていますか？	・留守番電話をセットしてください。（☞77 ページ） ・不要な録音内容を消してください。（☞78 ページ） ・「応答専用」以外の設定にしてください。（☞ 84 ページ） ・正しく接続してください。（☞20 ページ）
応答メッセージが選べない	・録音がいっぱいになっていませんか？	・不要な録音内容を消してください。（☞78 ページ）
用件を再生時、録音した日付・時刻が再生されない	・お買い上げ後、日付、時刻を設定していますか？または停電などで日付、時刻が初期値に戻っていませんか？	・日付、時刻を設定してください。（☞23 ページ）
外出先からリモート操作ができない	・トーン信号（ピポパ音）の出る電話機を使用していますか？ ・暗証番号は登録されていますか？	・トーン信号（ピポパ音）の出る電話機でリモート操作を行ってください。 ・暗証番号の登録をしてください。（☞ 81 ページ）

停電したときは

本機は停電時でも、親機の受話器を使って通話をすることができます。
子機は使用できません。

※ 登録している内容、応答メッセージ、用件などは消えませんが、日付・時刻が初期値に戻ることがあります。その場合には再度設定してください。

区点コード一覧表

文字入力の際、４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010	(空白)		、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
025										
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
030										
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
049										
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
059										
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
079										

1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
	【あ】									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【い】									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【う】									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【え】									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【お】									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【か】									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【き】									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					

1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【く】									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【け】									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【こ】									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【さ】									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜

区点コード一覧表（つづき）

1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
【し】										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
【す】										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
【せ】										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					

1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【そ】										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
【た】										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
【ち】										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
【つ】										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
【て】										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
【と】										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
【な】										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							

1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【に】										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
【ぬ～の】										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
【は】										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
【ひ】										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
【ふ】										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
【へ】										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
【ほ】										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
【ま】										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
【み】										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	

区点コード一覧表（つづき）

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【む】									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【め】									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【も】									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【や】									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【ゆ】									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【よ】									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【ら】									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【り】									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【る、れ】									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【ろ】									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【わ】									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丏	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥

区点コード一覧表（つづき）

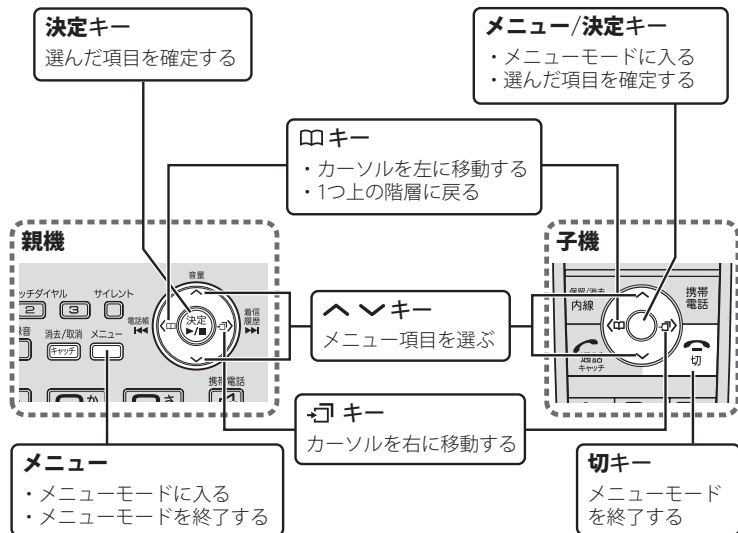
1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
637	熙	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

▌メニュー設定の基本操作

子機のメニューキーを押し、メニューモードにして、いろいろな機能の選択や
オン／オフ設定を行います。

※ 約 30 秒間操作をしないと自動的にメニューモードを終了します。（時刻登録のみ約 2 分間）

1 待受中に （ ） を押す

メニューモードになります。

2 で選ぶ

ディスプレイ上のカーソルを動かして
項目を選びます。

■設定や操作をまちがえたとき

を押す

ひとつ前のメニューに戻りますので、
再度やり直してください。

3 を押す

選んだ項目が確定されます。

4 （ ） を押す

メニューモードを終了します。

■通話中メニューについて

メニューを表示する

通話中に （ ） を押してください。

メニュー表示を終了し、通話に戻る

（ ） を押してください。

（子機の場合は を押すと通話が切れてしまいますのでご注意ください。）

クイックガイド

✂切り取ってお使いください✂

メニュー一覧表

 （メニュー）を押して設定します。

待受中メニュー

- 留守メッセージ
  - 留守録履歴表示 ―「決定」ボタンで留守メッセージ再生、「通話」「携帯電話」ボタンで発信
- Bluetooth
  - 携帯電話選択
    - 発信（未接続時は「接続」）
    - 個別着信 ― オン／オフ
    - 登録解除
  - 携帯電話登録 ― 携帯電話側で操作します
- 子機設定（子機のみ）
  - 着信音 ― ホーム／携帯電話1～4選択 ― パターン#1～#4／メロディ#1～#6
  - クイック通話 ― オン／オフ
  - エニーキー応答 ― オン／オフ
  - 名前設定 ― 文字入力（全角で５文字、半角で10文字まで）
  - キータッチ音 ― オン／オフ
  - 液晶コントラスト ― 10段階
  - デモモード ― オン／オフ
- 親機設定（親機のみ）
  - 着信音 ― ホーム／携帯電話1～4選択 ― パターン#1～#4／メロディ#1～#6
  - キータッチ音 ― オン／オフ
  - 液晶コントラスト ― 10段階
  - デモモード ― オン／オフ
- 留守設定
  - 暗証番号 ― 数字２桁
  - 応答回数 ― トールセーバー／４回／６回／８回
  - 録音時間 ― １分／４分／応答専用
  - 新規用件通知音 ― オン／オフ
  - 留守モニター ― オン／オフ
  - 留守設定 ― オン／オフ
  - 応答メッセージ録音 ―「決定」ボタンで録音開始
  - 応答メッセージ選択 ―「▲▼」ボタンで応答メッセージ選択、「決定」ボタンで応答メッセージ再生
- 日付時刻設定 ― 年 / 月 / 日　時:分
- 基本設定
  - 回線種別 ― 自動選択／プッシュ／10pps／20pps
  - TA/スプリッタ ― オン／オフ
  - 併設電話検出 ― オン／オフ
- ナンバーディスプレイ
  - ナンバーディスプレイ ― オン／オフ ― キャッチホンディスプレイ ― オン／オフ
- 着信拒否設定
  - 指定番号拒否 ― 閲覧／新規登録（閲覧中のみ、「決定」ボタン押下で編集・消去選択可能）
  - 非通知着信拒否 ― オン／オフ
  - 公衆電話着信拒否 ― オン／オフ
  - 表示圏外着信拒否 ― オン／オフ

通話中メニュー

- ミュート ― オン／オフ
- グループ通話 ― 選択直後、オフからオン（またはオンからオフ）に切り替わります
- 通話録音 ― 選択直後、録音が開始もしくは停止します
- 三者通話 ― 固定回線と携帯電話の三者通話状態にします（三者通話ができる状態のときのみ表示されます）

✂ 切り取ってお使いください ✂

さくいん

最新の商品情報、サポート情報、Bluetooth接続確認済機器の情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 浴室やシャワー室では使用しないでください。本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

愛情点検

長年ご使用の電話機の点検を！

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。

このような症状はありませんか

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜き、必ず＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。

注意事項

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。海外では、接続できる電話機をそれぞれの国の法令で定めていますので、使用できません。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。
- 大電力の工業施設等でお使いの場合には、ノイズが発生したり、LCD表示がちらつく場合があります。

＜ユニデンダイレクト＞お客様センター

当社製品のお取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

商品のご注文 **0120-012-123**　サポートダイヤル **0120-20-20-70**（無料）

＜ユニデン＞製品情報サイト　**http://www.uniden.jp/**

DECT3288　取扱説明書

発行日：2012 年 1 月　第 1 版

ユニデン株式会社

〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7

http://www.uniden.co.jp/

U01UN337ZZZ(0)